

令和5年第1回定例会
防災環境産業委員会資料

	頁
1 最近の経済・雇用情勢について	2
2 令和4年度 県出資法人等経営評価結果報告の概要について	3
3 令和5年度 組織改正（産業戦略部関連）について	4

令和5年3月15日
産 業 戦 略 部

1 最近の経済・雇用情勢について

(1) 「月例経済報告」における基調判断（令和5年2月21日：内閣府）

- ・ 景気は、このところ一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。
- ・ 先行きについては、ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響や中国における感染拡大の影響に十分注意する必要がある。

(2) 茨城県金融経済概況（令和5年3月6日：日本銀行水戸事務所）

- ・ 県内景気は、資源高の影響などを受けつつも、新型コロナウイルス感染症の感染抑制と経済活動の両立が進むもとで、基調としては持ち直している。
- ・ 主要支出項目をみると、輸出は、供給制約の影響が総じてみれば和らぐもとで基調としては増加しているものの、一部に弱めの動きがみられている。国内需要の面では、個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも、感染抑制と経済活動の両立が進むもとで、徐々に持ち直している。住宅投資は弱含んでいる。公共投資は横ばい圏内の動きとなっている。
- ・ このような内外需要を反映して、生産は、供給制約の影響が総じてみれば和らぐもとで、基調としては増加している。この間、雇用・所得環境をみると、全体として緩やかに改善しつつある。
- ・ なお、金融面をみると、預金、貸出ともに増加した。貸出約定平均金利は低下した。

【個人消費】 1月の百貨店・スーパー販売額は、4か月連続で前年を上回った。2月の乗用車新車登録台数は、2か月連続で前年を上回った。家電販売は、物価上昇を背景とした消費者の生活防衛意識の強まりのほか、天候要因による季節家電の販売不振などもあって、弱含んでいる。

【生産】 12月の鉱工業生産指数(原指数)は、5か月振りに前年を下回った。供給制約の影響が総じてみれば和らぐもとで、基調としては増加している。

【輸出】 供給制約の影響が総じてみれば和らぐもとで基調としては増加しているものの、一部に弱めの動きがみられている。

(3) 雇用情勢（令和5年3月3日：総務省「労働力調査」、厚生労働省「一般職業紹介状況」）

		R4.7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5.1月
完全失業率 (%) (季節調整値)		2.6	2.5	2.6	2.6	2.5	2.5	2.4
完全失業者数 (万人) (原数値)		176	177	187	178	165	158	164
有効求人倍率 (季節調整値)	全国	1.28	1.31	1.32	1.34	1.35	1.36	1.35
	茨城県	1.49	1.50	1.49	1.50	1.52	1.52	1.50

※完全失業率と有効求人倍率の季節調整値は、毎年1月分結果公表時に、過去に遡って改訂

2 令和4年度 県出資法人等経営評価結果報告の概要について

【県全体】

評価区分	法人数（構成比）
概ね良好	24（73%）
改善の余地あり	5（15%）
改善措置が必要	3（9%）
大いに改善を要する又は 緊急の改善措置が必要	1（3%）
合 計	33

【産業戦略部】

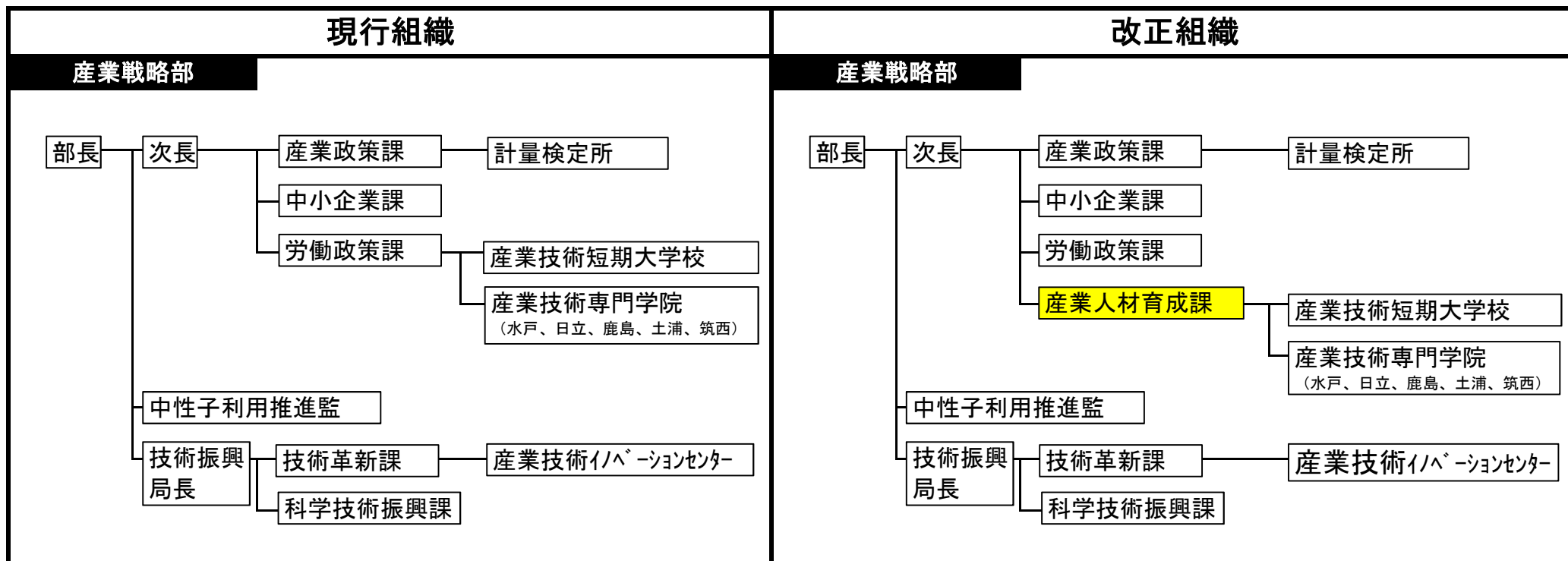
評価区分	法人数（構成比）	出 資 法 人 名
概ね良好	6（100%）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 茨城県信用保証協会 ・ (公財) いばらき中小企業グローバル推進機構 ・ (株) ひたちなかテクノセンター ・ (株) つくば研究支援センター ・ (公財) 茨城カウンセリングセンター ・ (一財) 茨城県科学技術振興財団
改善の余地あり	0（0%）	
改善措置が必要	0（0%）	
大いに改善を要する又は 緊急の改善措置が必要	0（0%）	
合 計	6	

3 令和5年度 組織改正（産業戦略部関連）について

<改正の趣旨>

○産業人材育成体制の強化

- 成長分野への円滑な労働力の移行や、県内産業の生産性向上につなげるリスキリングを推進するとともに、I T人材の育成強化に向けた県立産業技術短期大学校（I T短大）の大学校化に取り組む体制を整備するため、産業戦略部に「産業人材育成課」を設置。



令和5年第1回定例会 防災環境産業委員会資料

1 その他議案及び前回の委員会以降の主な事務事業の概要

- (1) 権利の放棄について<付託案件：第76号議案>【産業政策課】 2
- (2) イオンモール株式会社とのeスポーツ等を活用した産業の振興に関する
連携協定の締結について【産業政策課】 3
- (3) 事業継続臨時応援金について【中小企業課】 4
- (4) 貨物運送事業者燃料価格高騰対策支援金について【中小企業課】 5
- (5) 訴えの提起について（新型コロナウイルス感染症拡大防止営業時間
短縮要請協力金返還金）<付託案件：第74号議案>【中小企業課】 6
- (6) いばらきアマビエちゃんの運用停止について【中小企業課】 7
- (7) 就職支援の取組について【労働政策課】 8
- (8) 「つくば医療 MaaS」実証実験について【科学技術振興課】10
- (9) 第19回江崎玲於奈賞・第33回つくば賞・第32回つくば奨励賞の
決定について【科学技術振興課】11
- (10) 第3回いばらきイノベーションアワードの決定について
【科学技術振興課】14

2 令和5年度当初予算<第5号議案 令和5年度茨城県一般会計予算>関係 及び条例案の概要

- (1) リスキリング推進事業【産業政策課、労働政策課】16
 - (2) IT短大機能強化事業【労働政策課】18
 - (3) 茨城県産業技術イノベーションセンターの使用料及び手数料徴収条例の
一部を改正する条例について<付託案件：第35号議案>【技術革新課】20
 - (4) アンモニアサプライチェーン構築実行可能性調査事業
【科学技術振興課】23
 - (5) いばらき宇宙ビジネス創造拠点プロジェクト【科学技術振興課】26
- (参考) 条例改正議案・新旧対照表28

令和5年3月15日

産業戦略部

提出議案（条例は除く）の概要

産業政策課

議案の名称	権利の放棄について								
1 現況・課題	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、売上が急減する県内の中小企業者に対して、事業継続等を支援するため、中小企業事業継続応援貸付金事業を実施（令和2年5月11日から令和3年9月30日まで）。</p> <p>当該貸付金のうち、債務者が破産等により免責され回収不能な債権が発生している。</p>								
2 必要性・ねらい	<p>法令に則った適正な債権管理に努めるとともに、徴収活動の強化や時効期間の漫然経過防止、早期の債権処理といった対応をとることにより、未収債権額の縮減を図る。</p>								
3 内 容	<p>債務者が破産等により免責され回収不能な債権について、「県の債権（私債権）に係る権利の放棄の基準」により権利の放棄を行う。</p> <p>債 権：中小企業事業継続応援貸付金に係る債権 計2件 債 務 者：古河市小堤1951番地36 川名 研一 外1者</p> <p>放 棄 額：380万円及びこれに係る遅延損害金 放棄理由：破産法第253条第1項又は民事再生法第178条第1項の規定に基づき、債務者が当該債権につきその責任を免かれたことから回収不能のため。</p>								
4 参考事項	<p>○中小企業事業継続応援貸付金の概要</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <tr> <td style="width: 20%; text-align: center;">内 容</td> <td>公的融資制度や民間金融機関から融資を受けられなかった中小企業者に対して、事業継続に必要な資金を無利子・無担保で貸付</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">貸付限度額</td> <td>200万円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">貸付期間</td> <td>10年以内（据置期間5年以内）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">貸付実績</td> <td>651件 11億7,750万円（R2.5.11～R3.9.30）</td> </tr> </table> <p>○県の債権（私債権）に係る権利の放棄の基準（抜粋・R2.10策定） 主たる債務者及びその保証人又は連帯保証人等全ての債務者について、その状況が次のいずれかに該当するもの。 (4)破産法（平成16年法律第75号）第253条第1項、会社更生法（平成14年法律第154号）第204条第1項その他の法令の規定により債務者が当該債権につきその責任を免かれたこと。 ※その他の法令の例として、民事再生法第178条第1項がある。</p>	内 容	公的融資制度や民間金融機関から融資を受けられなかった中小企業者に対して、事業継続に必要な資金を無利子・無担保で貸付	貸付限度額	200万円	貸付期間	10年以内（据置期間5年以内）	貸付実績	651件 11億7,750万円（R2.5.11～R3.9.30）
内 容	公的融資制度や民間金融機関から融資を受けられなかった中小企業者に対して、事業継続に必要な資金を無利子・無担保で貸付								
貸付限度額	200万円								
貸付期間	10年以内（据置期間5年以内）								
貸付実績	651件 11億7,750万円（R2.5.11～R3.9.30）								

前回の委員会以降の主な事務事業の概要

産業政策課

項 目	イオンモール株式会社とのeスポーツ等を活用した産業の振興に関する連携協定の締結について
<p>1 目 的</p> <p>本県とイオンモール株式会社、双方の資源を有効に活用した協働による活動を推進し、県内におけるeスポーツの健全な発展、eスポーツの裾野の拡大、デジタル人材を活用したクリエイティブ人材の育成など、幅広い分野でeスポーツの可能性を追求することにより、産業の振興へとつなげるとともに、その他社会課題の解決を図ることを目的とする。</p> <p>(協定締結日：令和5年3月2日)</p>	<p>2 協定の概要</p> <p>(1) 連携事項</p> <p>ア イオンモール(株)の県内各施設を活用した、県主催・共催のeスポーツ大会、イベントの企画運営</p> <p>イ 全世代を対象としたeスポーツの交流促進</p> <p>ウ 県内eスポーツイベントのパブリシティ向上</p> <p>エ 県外のイオンモール各施設との連携による、eスポーツ大会やイベントの企画検討、実施等</p> <p>オ その他、目的の達成に資する事業等の検討・開催</p> <p>(2) 各主体の役割</p> <p>ア イオンモール株式会社の役割</p> <ul style="list-style-type: none">・県内のイオンモール5施設(水戸内原、土浦、つくば、下妻、水戸オーパ)内イベントスペースの、eスポーツイベントでの活用促進・イオンモールアプリを活用したeスポーツイベント配信への支援・県外イオンモールと連携したイベント開催に向けた調整 など <p>イ 県の役割</p> <ul style="list-style-type: none">・県内イオンモールでのeスポーツイベントの企画、運営及び誘致・eスポーツイベントと連携した産業振興策の実施検討 など
<p>3 当面の取組</p>	<p>協定のもと、当面、以下の事項について連携して取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none">・県内イオンモールのイベントスペースを活用した、県内企業、大学、団体と高校生のeスポーツを通じた交流戦の実施・県内高校生が運営に参加する、小学生向けプログラミング講座及びeスポーツ体験会の実施・各地域イオンモールと連携した、全国都道府県対抗eスポーツ選手権のブロック予選開催に向けた調整

前回の委員会以降の主な事務事業の概要

中小企業課

項 目	事業継続臨時応援金について						
<p>1 目 的</p> <p>コロナ禍からの回復の遅れや価格転嫁が進まないこと等により、売上高（事業収入）が減少し、経営環境が特に悪化している事業者（中小企業・農林水産業者等）を応援するため、臨時応援金を支給する。</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 対象事業者 県内事業者（業種・法人形態を問わない） （外形要件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 申請時点において茨城県内に主たる事業所を有し、かつ、令和3年において所得税又は法人税の納税地を本県内としていること。 ※ 非課税団体（社会福祉法人・NPO法人等）は、県内に主たる事業所を有していること。 ・ 確定申告書等で売上高（事業収入）の金額が確認できること。 ・ 農業者（畜産含む）は、法人・認定農業者等であること。 <p>(2) 支給額 一律10万円 ※1事業者1回限り。</p> <p>(3) 支給要件 次の要件をいずれも満たすこと。 ア 令和4年1～10月（1～11月又は1～12月）の売上高（事業収入）が、令和3年の同期間の売上高と比較して20%以上減少していること。 イ 令和3年（1～12月）における、売上高（事業収入）が120万円以上であること。</p> <p>(4) 申請期間 令和4年12月1日～令和5年1月31日</p> <p>(5) 支給状況等</p>	<p style="text-align: right;">(3/6 現在)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">申請件数</th> <th style="width: 33%;">支給決定件数</th> <th style="width: 33%;">支給金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">5, 465件</td> <td style="text-align: center;">4, 883件</td> <td style="text-align: center;">4億8, 830万円</td> </tr> </tbody> </table>	申請件数	支給決定件数	支給金額	5, 465件	4, 883件	4億8, 830万円
申請件数	支給決定件数	支給金額					
5, 465件	4, 883件	4億8, 830万円					

前回の委員会以降の主な事務事業の概要

中小企業課

項 目	貨物運送事業者燃料価格高騰対策支援金について						
<p>1 目的</p> <p>燃料価格の高騰は幅広い業種の経営に影響を及ぼしているが、特に、貨物運送事業は、国調査において、コスト上昇分を価格転嫁できた割合が業種別で最下位となるなど、より大きな影響を受けているところ。</p> <p>地域経済を支える重要な社会インフラである物流を維持するため、中小貨物運送事業者に対し、事業用の貨物自動車数に応じて支援金を支給する。</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 対象事業者等</p> <p>① 事業者要件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年10月1日までに貨物自動車運送事業法に基づく事業の許可を受けた、又は届出を行った中小貨物運送事業者であること。 ・ 申請受付開始日時点で上記の事業を継続しており、引き続き事業継続の意思を有する事業者であること。 <p>② 車両要件</p> <p>令和4年10月1日までに次の要件を満たしており、車検証の有効期限が申請受付開始日以降であること。</p> <p>ア 茨城運輸支局又は管内自動車検査登録所において登録及び検査を受けた自動車、もしくは軽自動車検査協会茨城事務所又は管内支所において検査を受けた軽自動車であること。</p> <p>イ 貨物自動車運送事業法に規定される事業用自動車であること。</p> <p>ウ 交付申請者が所有又は使用していること 等</p> <p>(2) 支給額</p> <p>一般・特定貨物自動車(緑ナンバー) 1台あたり20,000円 貨物軽自動車(黒ナンバー) 1台あたり 8,000円</p> <p>(3) 申請期間 令和5年2月1日～3月15日</p> <p>(4) 支給状況等</p>	<p style="text-align: right;">(3/6 現在)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">申請件数</th> <th style="width: 33%;">支給決定件数</th> <th style="width: 33%;">支給金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">1, 508件</td> <td style="text-align: center;">1, 209件</td> <td style="text-align: center;">4億3, 928万円</td> </tr> </tbody> </table>	申請件数	支給決定件数	支給金額	1, 508件	1, 209件	4億3, 928万円
申請件数	支給決定件数	支給金額					
1, 508件	1, 209件	4億3, 928万円					

提出議案（条例は除く）の概要

中小企業課

議案の名称	訴えの提起について(新型コロナウイルス感染症拡大防止営業時間短縮要請協力金返還金)																
1 現況・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、県が行った飲食店への営業時間短縮要請に協力した事業者に協力金を支給し、対策の実効性を高めるとともに、事業者の負担軽減を図ってきた。 ○ この協力金を不正に受給したことが発覚した申請者に対し、支給決定の取消し及び返還命令を行い、文書・訪問により督促や催告を行っているが、任意の履行が期待できない者がいる。 																
2 必要性・ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地方公共団体の長は、督促をした後相当の期間を経過してもなお履行されない債権については、地方自治法施行令第 171 条の 2 の規定に基づき、訴訟手続きにより履行を請求することが必要とされている。 ○ これまでの督促では回収困難であったため、裁判所への訴えの提起をすることにより、公平かつ適切な債権回収を進める。 																
3 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 協力金の返還義務者（債務者）に対しては、返還金の支払について督促及び催告を行っているが、交渉過程から今後の返還が見込めない債務者を対象に、返還金の支払いを求める訴えを提起する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 債務者 1 名（大阪府在住） ※令和 4 年 9 月に詐欺容疑で逮捕 ・ 債権額 3,775 千円 																
4 参考事項	<ul style="list-style-type: none"> ○飲食店等に係る時短協力金の支給状況（2/28 時点） <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; width: 80%;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">支給件数</th> <th style="width: 50%;">支給金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">67,331 件</td> <td style="text-align: center;">約 799 億円</td> </tr> </tbody> </table> ○不正受給等の返還状況（2/28 時点） <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; width: 80%;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 25%;">返還請求</th> <th style="width: 25%;">返還済</th> <th style="width: 20%;">未返還</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">件数</td> <td style="text-align: center;">65件（36者）</td> <td style="text-align: center;">48件（30者）</td> <td style="text-align: center;">17件（6者）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">金額</td> <td style="text-align: center;">60,864千円</td> <td style="text-align: center;">45,955千円</td> <td style="text-align: center;">14,909千円</td> </tr> </tbody> </table> 	支給件数	支給金額	67,331 件	約 799 億円		返還請求	返還済	未返還	件数	65件（36者）	48件（30者）	17件（6者）	金額	60,864千円	45,955千円	14,909千円
支給件数	支給金額																
67,331 件	約 799 億円																
	返還請求	返還済	未返還														
件数	65件（36者）	48件（30者）	17件（6者）														
金額	60,864千円	45,955千円	14,909千円														

前回の委員会以降の主な事務事業の概要

中小企業課

項 目	いばらきアマビエちゃんの運用停止について
1 目 的	<p>新型コロナウイルス感染症については、感染症法上、新型インフルエンザ等感染症に該当するものとされてきたが、今般、国から5類感染症に位置付けるとの方針が示されたことから、いばらきアマビエちゃんの運用について見直す。</p>
2 内 容	<p>令和5年4月1日以降、いばらきアマビエちゃんに係るシステムの運用を停止し、感染症法上、5類感染症に位置付けられる日（令和5年5月8日予定）をもって運用を終了する。</p>
3 システム以外の取扱いについて	<p>国が基本的対処方針を廃止するとしている令和5年5月8日までは、引き続き、「三つの密」の回避、「人と人との距離の確保」、「手洗い等の手指衛生」、「換気」等基本的な感染対策の実施を依頼する。</p>
【参 考】	<p>新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針（抜粋）</p> <p>一 新型コロナウイルス感染症発生の状況に関する事実</p> <p>（8）新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更</p> <p>「新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更等に関する対応方針について」（令和5年1月27日新型コロナウイルス感染症対策本部決定）を決定し、オミクロン株とは大きく病原性が異なる変異株が出現するなどの特段の事情が生じない限り、同年5月8日から<u>新型コロナウイルス感染症（COVID-19）について、感染症法上の新型インフルエンザ等感染症に該当しないものとし、5類感染症に位置づけることとした。</u></p> <p>二 新型コロナウイルス感染症の対処に関する全般的な方針</p> <p>（4）感染防止策</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染症法上の<u>位置づけが変更された以降は、本方針及び業種別ガイドラインは廃止となり、個人及び事業者は自主的な感染対策に取り組むこととなる。</u>政府は、感染症法上の位置づけ変更後も、自主的な感染対策について必要となる情報提供を行うなど、個人及び事業者の取組みを支援していくこととする。</p>

前回の委員会以降の主な事務事業の概要

労働政策課

項 目	就職支援の取組について															
<p>1 目 的</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症の雇用情勢に与える影響を踏まえ、県就職支援センターの相談体制を強化して、求職者の早期就職を支援</p> <p>(2) 県内外の大学等と連携して、県内企業の魅力を広く発信し、学生の県内就職の促進と県内企業の人材確保を支援</p> <p>(3) 求職者と県内企業のマッチング促進のため、各種面接会を開催</p> <p>(4) 県内企業の人手不足に対応するため、県内企業と外国人材とのマッチング支援等を行うことで企業の人材確保を支援</p>																
<p>2 事業概要</p> <p>(1) いばらき就職支援センターにおける就職支援</p> <p>県内6か所のいばらき就職支援センターにおいて、キャリアカウンセラー等の専門の相談員によるカウンセリングや適性診断を実施した上で最適な就職先を紹介する等、きめ細やかな支援を行っている。</p> <p>※職員数 [R2.5まで] 41名 → [R2.6から] 48名 (7名増)</p> <p>【実績】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">件数</th> <th style="text-align: center;">R4 (R5.2月末)</th> <th style="text-align: center;">R3 (参考)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">就職支援</td> <td style="text-align: center;">利用件数</td> <td style="text-align: center;">23,660</td> <td style="text-align: center;">24,640</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">就職件数</td> <td style="text-align: center;">849</td> <td style="text-align: center;">924</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">労働相談</td> <td style="text-align: center;">相談件数</td> <td style="text-align: center;">694</td> <td style="text-align: center;">692</td> </tr> </tbody> </table>			件数	R4 (R5.2月末)	R3 (参考)	就職支援	利用件数	23,660	24,640	就職件数	849	924	労働相談	相談件数	694	692
	件数	R4 (R5.2月末)	R3 (参考)													
就職支援	利用件数	23,660	24,640													
	就職件数	849	924													
労働相談	相談件数	694	692													
<p>(2) 学生の県内就職促進 ※R5.2月末時点</p> <p>ア 県内企業情報の提供・魅力発信</p> <p>(ア) 経営者随行動インターンシップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学生を対象として、県内企業の魅力や企業活動の核心を体験できるプログラムを提供 <p>【実施状況】</p> <p>参加学生40名(延べ68名) 受入実施企業 16社</p> <p>(イ) 高校生キャリア講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進学前の早い段階から地域の企業への関心を高めるため、高校生を対象に、県内企業の若手社員による講話、企業研究などの講座を開催 <p>【実施状況】</p> <p>高校10校(参加生徒1,504名) 参加企業 延べ34社</p> <p>(ウ) オンライン企業説明会、県外大学UIJターン就職説明会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生に対して、県内企業の魅力や県内就職のメリットなどの情報発信 ・オンライン企業説明会 <p>【R4実績】 実施14回 参加企業228社 参加学生・保護者223名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外大学UIJターン就職説明会 <p>【R4実績】 実施30回 参加人数161名</p>																

イ 企業の採用力強化

新卒採用に積極的な企業に対し、新卒採用のトレンドや、企業の魅力訴求力向上、効果的なプレゼン法、ウェブ上での情報発信等のノウハウを伝えるとともに、実践まで支援

【実施状況】参加企業数50社 講座（連続2回）及び実践支援を実施

(3) 就職マッチング機会の提供

求職者と県内企業のマッチング促進のため、各種就職面接会を開催

【就職面接会実績（R5.2月末時点）】

	開催数	企業数	参加者数
チャレンジいばらき就職面接会 (新卒向け)	5	367	452
元気いばらき就職面接会 (中途向け)	9	166	221
計	14	533	673

(4) 外国人材の受入れ促進 ※R5.2月末時点

茨城県外国人材支援センターにおいて、県内企業からの相談対応や、県内で就労を希望する外国人材と県内企業とのマッチング支援等を行っている。

ア 県内企業から外国人材活用に関する相談対応

【実施状況】延べ相談件数 990 件(企業 743 件、外国人材 247 件)

イ 外国人材の採用に向けた各種イベントの開催

(ア) 外国人雇用に関する企業等向けセミナー

【実施状況】開催数 17 回 参加者 489 名 306 社

※9/6 ベトナムロンアン省代表団来県記念ベトナム人材受入れ促進セミナー
83 社等 118 人が参加(Web 参加者含)

(イ) 国内外の大学等と連携した就職説明会・面接会・視察ツアー等

【実施状況】大学等 11 校(国内 8 校、国外(モンゴル・ベトナム)3 校)
学生 510 名 企業 36 社

ウ 外国人材確保件数

40 件 (外国人材支援センターの関与により県内企業における外国人材の確保に繋がった件数)

(内訳)



- ・マッチング支援件数 18 件 (外国人材と県内企業のマッチングを支援)
- ・受入れ支援件数 22 件(外国人従業員の在留資格の切替え支援や採用選考支援等)

エ その他

介護人材育成・送出・受入プログラム「茨城県コース」によるベトナム人材の受入れ(R4.10 開始)

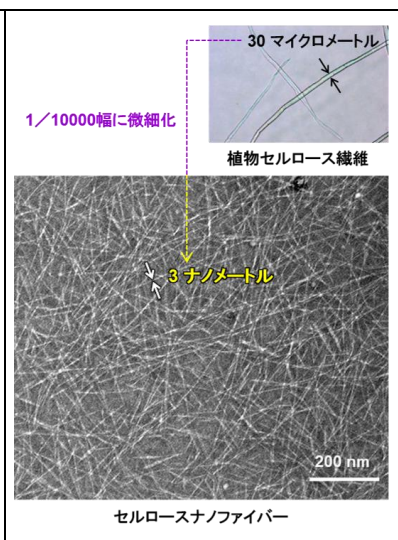
前回の委員会以降の主な事務事業の概要

科学技術振興課

項 目	「つくば医療MaaS」実証実験について
1 目 的	<p>科学技術が集積する「筑波研究学園都市」において、顔認証による公共交通の利便性向上や自動運転小型モビリティ等の実装等を推進することにより、自動車依存度が高い地方都市における「高齢者や障害者など誰もが安心・安全・快適に移動できるまち」の実現を目指す。</p> <p>2 事業概要</p> <p>「つくば医療MaaS」として、自動運転小型モビリティ等の活用による通院患者等の移動手段確保や、顔認証を用いた病院事前受付と後払い会計システムの連動による待ち時間の短縮により、患者・病院双方の負担を最小化するモデルケース創出に向けた検証を行う。</p> <p>(1) 実施主体：つくばスマートシティ協議会 会長：知事、つくば市長 会員：県、つくば市、筑波大学、三菱電機、NEC 他 (70者)</p> <p>(2) 事業費：4,020万円 (採択額) ※令和4年度国交省「スマートシティ実装化支援事業」に採択 (国交省補助金：2,000万円、県・市負担金：各300万円、 その他はプロジェクト参加企業が負担)</p> <p>(3) 実証期間、内容及び結果</p> <p>①交通弱者に対する新たな移動手段の確保 ア期間：令和5年2月3日(金)～2月13日(月) (運休日：2月8日(水)) イ内容：つくば駅周辺のペDESTリアンデッキにおいて、近隣の病院への通院を想定し、安心・安全なラストワンマイルの移動手段の提供を目指し、自動運転小型モビリティ等を走行実証 ウ結果：約300人が自動運転小型モビリティ等を体験し、アンケートの結果、約9割の方が、実装した際には利用したいと回答。</p>  <p>モビリティ走行の様子</p> <p>②顔認証を用いた病院事前受付と後払い会計の連動による患者・病院負担の最小化 ア期間：令和5年2月20日(月)～2月24日(金) (2月23日(木)・祝)を除く イ内容：病院行きバス内で顔認証を行うことで事前に受付を済ませ、病院の医療情報システムと連動させることで、診察、会計までをシームレスにつなぐ実証 ウ結果：約200人にアンケートを実施した結果、約7割の方が、顔認証・後払い会計について、実装した際にはサービスを利用したいと回答。</p>  <p>バス乗車時の顔認証の様子</p>

前回の委員会以降の主な事務事業の概要

科学技術振興課

項 目	第19回江崎玲於奈賞・第33回つくば賞・第32回つくば奨励賞の決定について													
<p>1 目 的</p> <p>科学技術の研究開発に関わる研究者を顕彰することにより研究意欲を高め、本県における科学技術の基礎的・創造的な研究開発を促進し、科学技術の振興を図る。</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 主 催 (一財) 茨城県科学技術振興財団、つくばサイエンス・アカデミー</p> <p>(2) 共 催 茨城県、つくば市 (つくば賞、つくば奨励賞)</p> <p>(3) 協 賛 関彰商事株式会社 (江崎玲於奈賞)</p> <p>(4) 決定日 令和4年11月15日 (火)</p> <p>(5) 賞の対象</p> <p style="padding-left: 20px;">【江崎玲於奈賞 (1名)】</p> <p style="padding-left: 40px;">日本国内を対象にナノサイエンスあるいはナノテクノロジーに関する研究に携わり、顕著な研究業績を挙げた研究者を顕彰。</p> <p style="padding-left: 20px;">【つくば賞 (1名又は1組) ・つくば奨励賞 (各部門1名又は1組)】</p> <p style="padding-left: 40px;">茨城県内において科学技術に関する研究に携わり、顕著な研究成果を収めた研究者を顕彰。</p> <p>(6) 賞の内容</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">名称</th> <th style="width: 25%;">創設</th> <th style="width: 50%;">賞の内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>江崎玲於奈賞</td> <td>平成16年度</td> <td>賞状、副賞 (1,000万円)、記念品 (盾)</td> </tr> <tr> <td>つくば賞</td> <td>平成元年度</td> <td>賞状、副賞 (500万円)、記念品 (賞牌)</td> </tr> <tr> <td>つくば奨励賞</td> <td>平成2年度</td> <td>賞状、副賞 (100万円)、記念品 (賞牌)</td> </tr> </tbody> </table>	名称	創設	賞の内容	江崎玲於奈賞	平成16年度	賞状、副賞 (1,000万円)、記念品 (盾)	つくば賞	平成元年度	賞状、副賞 (500万円)、記念品 (賞牌)	つくば奨励賞	平成2年度	賞状、副賞 (100万円)、記念品 (賞牌)		
名称	創設	賞の内容												
江崎玲於奈賞	平成16年度	賞状、副賞 (1,000万円)、記念品 (盾)												
つくば賞	平成元年度	賞状、副賞 (500万円)、記念品 (賞牌)												
つくば奨励賞	平成2年度	賞状、副賞 (100万円)、記念品 (賞牌)												
<p>3 受賞者</p> <p>(1) 第19回江崎玲於奈賞</p> <p style="padding-left: 20px;">「植物由来の完全分散化セルロースナノファイバーの創製と応用に関する研究」</p> <p style="padding-left: 20px;">東京大学 本部特別教授室 特別教授 磯貝 明氏</p>														
<p>研究概要</p>	<p>植物の主要構成成分のセルロース繊維は、大気中の二酸化炭素と水から生合成される地球上で最大蓄積量かつ最大年間生長量が見込まれる再生産可能なバイオ素材である。</p> <p>磯貝氏は、水系・常温・常圧の温和な条件下での触媒的酸化反応で、セルロース繊維から超極細・均一幅のナノファイバーを分散・単離する画期的な手法を創出するとともに、単離ナノファイバーの表面構造を制御する方法を確立。</p> <p>この成果は、新素材として広範な応用への途を拓くものであり、持続可能型社会の実現に向け、ナノサイエンス・ナノテクノロジーの大きな貢献を示す業績である。</p>													
	 <p style="text-align: center;">セルロースナノファイバー</p>													

(2) 第33回つくば賞

「放射光X線による分子動画計測法の開発」

高エネルギー加速器研究機構 理事 足立 伸一氏

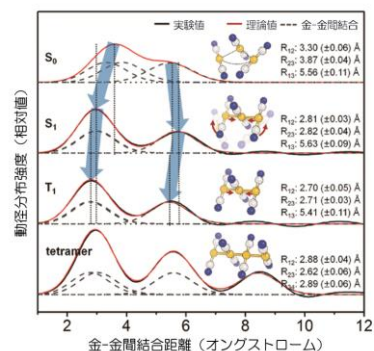
高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所

放射光科学第二研究系 准教授 野澤 俊介氏

研究概要

高エネルギー加速器研究機構の放射光源加速器 (PF-AR) から得られるパルスX線を活用し、分子動画計測法を開発。人工光合成研究等の先端的应用研究を推進した。さらに、X線自由電子レーザーへ展開し、フェムト秒の時間分解X線計測に成功。これまで観測することが不可能だった超高速な物質構造の変化を原子レベルで直接計測することを可能とした。

この研究成果は、世界を先導するものであり、今後の物質科学の発展に大きく貢献するものである。



実際の実験データを使って分子構造の変化を示す図

(3) 第32回つくば奨励賞 (実用化研究部門)

「FePt-C 系熱アシスト磁気記録媒体の開発」

物質・材料研究機構 磁性・スピントロニクス材料研究拠点

磁気記録材料グループ グループリーダー 高橋 有紀子氏

物質・材料研究機構 理事長 宝野 和博氏

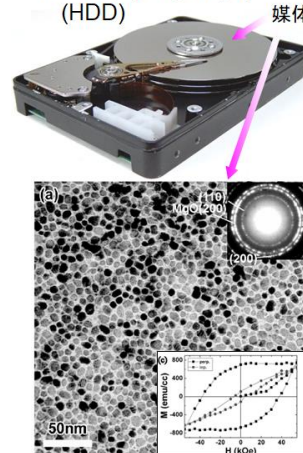
研究概要

ハードディスクドライブの熱アシスト磁気記録方式の実現には、6nm サイズの高い結晶磁気異方性を持つ強磁性粒子を同結晶方位で均一に分散した磁気記録媒体の開発が必要であった。

高橋氏は、FePt (鉄 白金) と相分離傾向の強いC(炭素)を分離相として選択し、高保磁力で垂直磁気異方性を持つFePt ナノ粒子を均一に分散させることに成功。開発した媒体は、その後実用化され、データセンターへ出荷されている。

この成果は、近年の超スマート社会での貢献が期待される。

ハードディスクドライブ (HDD) 媒体



(4) 第32回つくば奨励賞 (若手研究者部門)

「高機能性多結晶薄膜の低温合成とデバイス応用に関する研究」
筑波大学 数理物質系 准教授 都甲 薫氏

<p>研究概要</p>	<p>都甲氏は、次世代高性能半導体材料と言われる IV 族系半導体をガラスやプラスチックなど様々な基板上に多結晶薄膜でありながら、高温合成した単結晶に匹敵する成膜技術に取り組み大きな成果をあげた。</p> <p>この成果は、低コストの太陽電池、熱電変換等のエネルギーデバイスや低消費電力・高速で動作するフレキシブルトランジスタ回路等の実現につながり、新たな IoT フィジカルデバイス実現のための基盤技術を大きく進めたものである。</p>	<p>超高機能フレキシブル端末</p>
-------------	---	---------------------

「希少元素を用いない新規高性能永久磁石材料の研究」
物質・材料研究機構 磁性・スピントロニクス材料研究拠点
磁性材料解析グループ 主幹研究員 Sepehri Amin Hossein氏

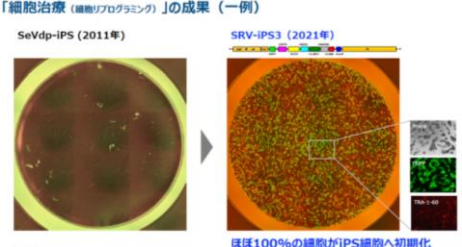

<p>研究概要</p>	<p>セペリ氏は、高保磁力ネオジム (Nd) 磁石材料からレアアースのジスプロシウム (Dy) を削減する社会的に極めて重要な問題の解決に取り組み、結晶粒界改質により Dy なしで高保磁力を達成できる Dy フリーNd 磁石開発の指導原理を確立。この成果は、脱レアアース系磁石の実現に向けて一つの道筋を示すものとして世界的に評価されており、極めて波及効果が大きく独創性の高いものである。</p>	<p>粒界改質による高保磁力 Dy フリーネオジム磁石の開発</p>
-------------	---	------------------------------------

前回の委員会以降の主な事務事業の概要

科学技術振興課

項 目	第3回いばらきイノベーションアワードの決定について																						
<p>1 目的 先端技術を活用した革新的な新製品・新サービスを対象に表彰を実施することで、より一層の製品化や地域経済を支える新産業の成長の促進を目的とする。</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 主 催 いばらきイノベーションアワード実行委員会 (県、産業支援機関、金融機関、大学、研究所等)</p> <p>(2) 対 象 概ね3年以内に発売された先端技術を活用した新製品・新サービス</p> <p>(3) 公 募 令和4年7月1日(金)～令和4年9月1日(木)</p> <p>(4) 応募総数 15件</p> <p>(5) 審 査 【1次審査】 産業戦略部技術振興局職員による書面審査 【2次審査】 いばらきイノベーションアドバイザーによる書面、プレゼン審査</p> <p>(6) 賞の内容 【大 賞 (1件)】 賞状、記念品及び目録(賞金100万円)を授与。 【優秀賞 (3件)】 賞状及び記念品を授与。</p> <p>3 受賞者</p> <p>(1) 大賞 (1件)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 35%; text-align: center;">新製品・新サービス (申請者)</th> <th style="width: 30%; text-align: center;">概要</th> <th style="width: 35%;"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>室温付近からの環境熱において温度差なしで永続的に発電する環境熱発電デバイス(株式会社 GCE インスティテュート)</p> </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>温度差なしで永続的に発電する環境熱発電デバイス。金属ナノ粒子分散固体膜を仕事関数の異なる2つの平板電極で挟んだ構成。大面積化や積層化により画期的、実用的な熱電デバイスを提供。</p> </td> <td style="vertical-align: top;"> <div style="text-align: right;">GCEInstitute</div> <p>技術ベンチマーク</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center; background-color: #f0f0f0;">ゼーベック発電</p> <p style="font-size: small;">温度差がなくなれば発電減衰</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center; background-color: #f0f0f0;">アンビエント発電™</p> <p style="font-size: small;">温度差がなくても発電</p> </div> </div> <table style="margin-top: 10px; font-size: x-small; width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">温度差不要</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">実証済</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">大面積化</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">開発中</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">多層化</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">実証済</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">■</td> <td style="text-align: center;">室温での発電</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">実証済</td> </tr> </table> <p style="font-size: x-small; margin-top: 5px;">Confidential / GCE Institute</p> </td> </tr> </tbody> </table>		新製品・新サービス (申請者)	概要		<p>室温付近からの環境熱において温度差なしで永続的に発電する環境熱発電デバイス(株式会社 GCE インスティテュート)</p>	<p>温度差なしで永続的に発電する環境熱発電デバイス。金属ナノ粒子分散固体膜を仕事関数の異なる2つの平板電極で挟んだ構成。大面積化や積層化により画期的、実用的な熱電デバイスを提供。</p>	<div style="text-align: right;">GCEInstitute</div> <p>技術ベンチマーク</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center; background-color: #f0f0f0;">ゼーベック発電</p> <p style="font-size: small;">温度差がなくなれば発電減衰</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center; background-color: #f0f0f0;">アンビエント発電™</p> <p style="font-size: small;">温度差がなくても発電</p> </div> </div> <table style="margin-top: 10px; font-size: x-small; width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">温度差不要</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">実証済</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">大面積化</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">開発中</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">多層化</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">実証済</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">■</td> <td style="text-align: center;">室温での発電</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">実証済</td> </tr> </table> <p style="font-size: x-small; margin-top: 5px;">Confidential / GCE Institute</p>	×	温度差不要	○	実証済	×	大面積化	○	開発中	×	多層化	○	実証済	■	室温での発電	○	実証済
新製品・新サービス (申請者)	概要																						
<p>室温付近からの環境熱において温度差なしで永続的に発電する環境熱発電デバイス(株式会社 GCE インスティテュート)</p>	<p>温度差なしで永続的に発電する環境熱発電デバイス。金属ナノ粒子分散固体膜を仕事関数の異なる2つの平板電極で挟んだ構成。大面積化や積層化により画期的、実用的な熱電デバイスを提供。</p>	<div style="text-align: right;">GCEInstitute</div> <p>技術ベンチマーク</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center; background-color: #f0f0f0;">ゼーベック発電</p> <p style="font-size: small;">温度差がなくなれば発電減衰</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center; background-color: #f0f0f0;">アンビエント発電™</p> <p style="font-size: small;">温度差がなくても発電</p> </div> </div> <table style="margin-top: 10px; font-size: x-small; width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">温度差不要</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">実証済</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">大面積化</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">開発中</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">多層化</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">実証済</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">■</td> <td style="text-align: center;">室温での発電</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">実証済</td> </tr> </table> <p style="font-size: x-small; margin-top: 5px;">Confidential / GCE Institute</p>	×	温度差不要	○	実証済	×	大面積化	○	開発中	×	多層化	○	実証済	■	室温での発電	○	実証済					
×	温度差不要	○	実証済																				
×	大面積化	○	開発中																				
×	多層化	○	実証済																				
■	室温での発電	○	実証済																				

(2) 優秀賞 (3件)

<p>新製品・新サービス (申請者)</p>	<p>概要</p>	<p>概要</p>
<p>SRV™ iPSC Vector (ときわバイオ 株式会社)</p>	<p>線維芽細胞や末梢血細胞からiPS細胞を高効率で作成できる研究用試薬。ステルス型RNAベクター (SRV) にiPS細胞作製に必要な複数の遺伝子を搭載し、遺伝子発現レベルを最適化する。</p>	<p>「細胞治療 (細胞/プロテオミクス)」の成果 (一例)</p>  <p>SeVdp-iPS (2011年) SRV-iPS3 (2021年)</p> <p>ほぼ100%の細胞がiPS細胞へ初期化</p>
<p>グラフェン/カーボン ナノチューブ複合材料 (Gmit®) (株式会社 マテリアル イノベーションつくば)</p>	<p>本複合材料を電極として用いた新規蓄電デバイスは、リチウムイオン電池と比べると、急速充電かつ長寿命を有する。</p>	 <p>グラフェン/カーボンナノチューブの3次元複合構造</p> <p>図1 グラフェン/カーボンナノチューブ複合材料の構造イメージ</p>
<p>Web サービス 「Multi-Sigma®」 (株式会社 エイゾス)</p>	<p>複数のAI手法を組み合わせ、必要最小限の実験データから、複数の目的を同時に満たす条件をAIが自動的に探索するウェブアプリ。</p>	<p>Multi-Sigmaの活用例</p> <p>機能向上と副作用低下を両立する人工心臓のデザインを最適化</p> <p>実験データ Multi-Sigma (AI解析)</p>  <p>実験の労力を軽減・開発を効率化</p> <p>解析結果</p> <p>□実測値 ○推計値 ▲最適解_推計 ×最適解_検証</p> <p>赤血球の損傷係数 (副作用)</p> <p>動圧輸受の発生力 (機能)</p> <p>Multi-Sigma</p>

主要事業等の概要（案）

産業政策課、労働政策課

<p>事業名又は議案の 名 称</p>	<p>リスキリング推進事業【新規】</p>
<p>1 予 算 額</p>	<p>66,335千円</p>
<p>2 現況・課題</p>	<p>デジタル化や脱炭素化の進展により、産業構造の急速な変革が見込まれるなか、国の将来の労働需要予測では、エンジニアの需要が増加する一方、事務・販売従事者の需要が減少するなど、職種別に需給ギャップが生じるとの推計が示されている。</p>
<p>3 必要性・ねらい</p>	<p>本県産業の持続的な発展を確固たるものとするためには、成長産業・分野で求められるスキルの習得の推進が不可欠である。 そのため、産学官が連携し、企業の必要とするスキルの習得のための環境整備を進め、一人ひとりの能力向上を図っていく必要がある。</p>
<p>4 事業の内容 (事業フロー、 年次別・全体計 画等)</p>	<p>1 産学官の推進体制の構築／スキルの見える化 (1) 茨城県リスキリング推進協議会の運営 本年1月に設置した協議会のもと、「幹事会」、「IT人材ワーキング会議」において、効果的なリスキリング施策について検討。10月頃に政策パッケージを公表予定。 【主な検討事項】 ・将来の成長産業・分野で必要となるスキルの可視化 ・リスキリングに意欲的な企業人を後押しする仕組みづくり ・県全体でリスキリングを推進するための環境整備</p> <p>(2) 産業人材需給動向調査の実施 本県の成長産業において必要とされるスキル・需給規模を調査し、施策に反映。</p> <p>2 機運醸成 リスキリングの推進に向けた機運醸成を図るため、その必要性について、県内企業や県民へ働きかけ ・企業経営者・人事担当者の意識啓発 ・先進的な取組をする企業の顕彰 など</p> <p>3 県民のスキル習得促進 産業人材需給動向調査や協議会での議論を踏まえ、必要とされるスキルの習得を促進するための仕組みづくり ・認定講座の設置 ・企業人のキャリアを踏まえたリスキリング講座の推奨など</p>
<p>5 参考事項 (過去の実績、 他県の状況、 関連データ等)</p>	<p>(国の動き) ・岸田首相所信表明演説（令和5年1月）では、リスキリングによる能力向上支援、日本型の職務給の確立、成長分野（GX、DX、スタートアップ）への円滑な労働移動を進めるという三位一体の労働市場改革を、働く人の立場に立って、加速すると表明。</p>



リスキング推進事業（新規）

【R5当初予算額 66百万円】

産業戦略部産業政策課総務G (029-301-3515)

同 労働政策課人材育成G (029-301-3653)

成長産業・分野への円滑な労働移動を可能とし、本県産業の生産性向上を実現するため、産学官が連携した推進体制のもとで、県民のリスキングを強力に推進します。

1 産学官の推進体制の構築／スキルの見える化（23百万円）

- ・茨城県リスキング推進協議会（会長：知事）の運営
- ・産業人材需給動向調査の実施
→本県の成長産業において必要とされるスキル・需給規模を見える化



2 機運醸成（11百万円）

- リスキングの推進に向けた機運醸成を図るため、その必要性について、県内企業や県民へ働きかけ
（県内企業の経営者などを対象にワークショップを開催 など）



3 県民のスキル習得促進（32百万円）

- 産業人材需給調査結果や協議会での議論を踏まえ、必要とされるスキルの習得を促進するための仕組みづくり
（県民各人のキャリアに応じ、リスキング講座の受講を推奨 など）

主要事業等の概要（案）

労働政策課

<p>事業名又は議案の 名 称</p>	<p>I T短大機能強化事業 【新規】</p>
<p>1 予 算 額</p>	<p>1 5 3, 6 2 3 千円</p>
<p>2 現況・課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県立産業技術短期大学校（I T短大）は、平成17年の開校以来、即戦力となるI T人材を育成し、県内企業の人材確保に寄与している。 ・ 近年の急速なデジタル化の進展により、I T人材の需要が増加し、県内企業でも「質」と「量」の両面から人材不足の声が上がっている。 ・ 令和3年度の県議会「変革期をリードする新時代の茨城づくり調査特別委員会」において、高度デジタル人材の育成に向けた教育の充実等の提言がなされるなど、I T人材の育成強化が課題となっている。 ・ そのため、外部有識者によるI T短大の機能強化策を検討してきたところ。
<p>3 必要性・ねらい</p>	<p>○ I T短大の大学校化 (質の向上)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在の2年間の「専門課程」に加え、さらに2年間の高度な訓練を行う「応用課程」を設置、4年間で高度I T人材を育成 <p>(量の拡大)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 専門課程の定員を増員、企業の人材ニーズに対応
<p>4 事業の内容 (事業フロー、 年次別・全体計画等)</p>	<p>○ 施設整備の実施等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 応用課程の設置及び専門課程の定員増により、全体の定員が120名から320名に増加するため、現在地に新棟を増築 ・ 県内企業におけるI T人材ニーズについて調査の上、大学校の運営方針・カリキュラム等を策定 <p>【スケジュール】</p> <p><u>R 5 地盤調査、基本設計・実施設計</u> R 6 建設工事（～R 7） R 8 大学校へ移行（大学校開校）</p>
<p>5 参考事項 (過去の実績、 他県の状況、 関連データ等)</p>	<p>○ I T短大の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成17年4月開校 ・ 定員：120名 ※令和元年度より定員増（80名→120名） ・ 設置コース：情報システム、生産管理、セキュリティ ・ 令和4年度志願倍率：2.8倍（過去最多の志願者数） ・ 就職率等：開設以来100%（卒業生の就職は9割以上が県内） <p>○ I T短大の機能強化に関する検討会（令和4年8月設置）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 委員：経営者協会、I T企業、大学教授、県立高校校長等6名



I T 短大機能強化事業（新規）

【R5当初予算額 154百万円】

産業戦略部労働政策課人材育成G（029-301-3653）

県立産業技術短期大学校（I T 短大）の大学校化により、「質」と「量」の両面からデジタル人材の育成を推進します。

【大学校整備の概要】

○質の向上への対応

- ・現在の短大校（専門課程2年）に応用課程（2年）を設置して大学校化し、4年間でより高度な人材を育成

※専門課程（2年）を修了し就職することも可能

○量の拡大への対応

- ・基礎技術を有する人材ニーズに対応するため、専門課程の定員を増員



【事業内容】

○令和8年度開校に向けた施設整備の実施

- ・設計等の委託（154百万円）
新棟整備及び既存棟改修に関する設計等（基本設計・実施設計、地質調査等）



条 例（案） の 概 要

技術振興局 技術革新課

条例の名称	茨城県産業技術イノベーションセンターの使用料及び手数料徴収条例の一部を改正する条例【一部改正】												
1 制定（改正）の理由・根拠	茨城県産業技術イノベーションセンター(以下「センター」という。)において、新たな設備を企業の利用に供するとともに、新たな試験を追加するため、所要の改正を行う。												
2 制定（改正）の目的	センターの設備を使用し、また、同センターに対して試験を依頼しようとする者から使用料及び手数料を徴収する。												
3 背景・必要性	中小企業等を支援するための新たな設備の開放等に伴い、設備使用料及び試験等手数料について、所要の改正を行う。												
4 内 容	<p>(1) 使用料の項目の追加 (12 項目) 新たに企業利用に供する設備について使用料を定める。</p> <p>【主な設備】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">名称</th> <th style="width: 40%;">主な用途</th> <th style="width: 30%;">料金※</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>真円度測定機</td> <td>真円度、円筒度などの幾何偏差を接触式で測定</td> <td>2,310 円 (1 時間)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 手数料の項目の追加 (17 項目) 新たに追加する試験について手数料を定める。</p> <p>【主な試験】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">名称</th> <th style="width: 40%;">主な用途</th> <th style="width: 30%;">料金※</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>試料切断</td> <td>金属部品等を小さくするための切断</td> <td>1,980 円 (0.5 時間)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 料金は、以下の計算式に基づき機器ごとに設定 {人件費+減価償却費+その他の経費(消耗品費、保守費等)} ×消費税</p> <p>(3) その他所要の改正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機器の導入に伴い、使用料2項目、手数料5項目を更新する。 ・老朽化により設備が使用不能になったことに伴い、使用料6項目、手数料6項目を削除する。 	名称	主な用途	料金※	真円度測定機	真円度、円筒度などの幾何偏差を接触式で測定	2,310 円 (1 時間)	名称	主な用途	料金※	試料切断	金属部品等を小さくするための切断	1,980 円 (0.5 時間)
名称	主な用途	料金※											
真円度測定機	真円度、円筒度などの幾何偏差を接触式で測定	2,310 円 (1 時間)											
名称	主な用途	料金※											
試料切断	金属部品等を小さくするための切断	1,980 円 (0.5 時間)											
5 効果・影響	中小企業では保有することが困難な設備を企業の利用に供するとともに、企業からの依頼に基づき各種試験・分析等を行うことにより、中小企業の新製品・新技術の開発等を促進する。												
6 施行日	令和5年4月1日												
7 参考事項	○産業技術イノベーションセンターの設備使用及び依頼試験実績 令和3年度 設備使用：4,100件 依頼試験：12,355件 令和4年度 設備使用：3,572件 依頼試験：10,452件 (R4.12月末現在)												

産業技術イノベーションセンター使用料・手数料条例の改正について【令和5年4月1日改正】

1 使用料の項目の追加（12項目）

条例の項目	概要	単位	単価(円)
真円度測定機	真円度、円筒度などの幾何偏差を接触式で測定	1時間	2,310
画像測定機	部品の2次元寸法を測定	1時間	1,870
撮像検証システム	画像検査の自動化検討を行う	1時間	1,430
テンシプレスサー	主に食品等の硬度やテクスチャーを測定	1時間	880
引張せん断試験機	引張、せん断の特性値を取得し客観的な数値として風合いを予測	1時間	1,210
純曲げ試験機	曲げの特性値を取得し客観的な数値として	1時間	1,210
大型曲げ試験機	風合いを予測	1時間	1,210
圧縮試験機	圧縮の特性値を取得し客観的な数値として風合いを予測	1時間	1,100
表面試験機	表面の特性値を取得し客観的な数値として風合いを予測	1時間	1,210
表面摩擦試験機	表面の特性値を取得し客観的な数値として風合いを予測	1時間	1,210
サーモラボ	熱の特性値を取得し客観的な数値として風合いを予測	1時間	1,100
大型ねじり試験機	ねじりの特性値を取得し客観的な数値として風合いを予測	1時間	1,210

2 手数料の項目の追加（17項目）

条例の項目	概要	単位	単価(円)
真円度測定機によるもの	真円度、円筒度などの形状公差を接触式で測定	1試料・1測定	2,530
画像測定機によるもの	部品の2次元寸法を測定	1試料・1測定	2,200
試料切断	金属部品等を小さくするための切断	0.5時間	1,980
立体造形装置 設定	熱溶解積層法により立体を造形する装置で製品の試作等に使用	1件・1時間	3,740
立体造形装置 造形	熱溶解積層法により立体を造形する装置で製品の試作等に使用	1件・1時間	770
電気計測 (抵抗計によるもの)	電気抵抗の測定	1試験・1測定	990
電気計測 (デジタルマルチメータによるもの)	電圧値、電流値などの測定	1試験・1測定	990
撮像検証システムによるもの	画像検査の自動化検討を行う	1試料・1測定	1,650
摩擦処理試験	サンプルの表面を摩擦し耐摩擦性を評価	1試料・ 1,000回まで	990
熱拡散率測定	測定雰囲気を変えながら材料の熱拡散率を測定	1測定	7,590
引張せん断試験	引張、せん断の特性値を取得し客観的な数値として風合いを予測	1件(1事項)	1,870
曲げ試験	曲げの特性値を取得し客観的な数値として風合いを予測	1件(1事項)	1,870
圧縮試験	圧縮の特性値を取得し客観的な数値として風合いを予測	1件(1事項)	1,760
表面摩擦試験	表面の特性値を取得し客観的な数値として風合いを予測	1件(1事項)	1,870
接触冷温感・ 熱伝導率・保温性試験	熱の特性値を取得し客観的な数値として風合いを予測	1件(1事項)	1,760
ねじり試験	ねじりの特性値を取得し客観的な数値として風合いを予測	1件(1事項)	1,870
風合い値解析	引張、せん断、ねじり、曲げ、圧縮、表面、熱特性の特性値を取得後客観的な数値として風合いを予測	1件(1事項)	990

3 その他所要の改正

・機器の導入等に伴う使用料の更新(2項目)

条例の項目	概要	単位	旧単価 (円)	新単価 (円)
微小蛍光エックス線分析装置	材料中の微小部に含まれる元素の定性・定量分析	1時間	3,200	3,520
粒度分布測定装置	粒度分布の測定	1時間	1,540	1,650

・機器の導入等に伴う手数料の更新(5項目)

条例の項目	概要	単位	旧単価 (円)	新単価 (円)
微小蛍光エックス線分析装置によるもの(マッピング分析以外のもの)	材料中の微小部に含まれる元素の定性・定量分析	1試料・1測定	3,520	3,960
微小蛍光エックス線分析装置によるマッピング分析	材料中の微小部に含まれる元素の定性・定量分析	1試料・1測定	5,720	6,600
pH値測定	水溶液中のpH測定	1試料	600	770
アミノ酸分析 指定アミノ酸17種類	食品に含まれるアミノ酸含量を測定	1件(10試料)	33,880	45,540
アミノ酸分析 指定アミノ酸35種類	食品に含まれるアミノ酸含量を測定	1件(3試料)	35,860	50,930

・老朽化による使用料・手数料の削除(12項目)

条例の項目	概要	単位	単価 (円)	備考
携帯用分光式色差計	表面色の数値測定	1時間	-	使用料
携帯用光沢計	物体表面の光沢度測定	1時間	-	使用料
立体造形装置	熱溶解積層法により立体を造形する装置で製品の試作や治具の製作に使用	1時間	-	使用料
ロールミル	米穀等の粉碎装置	1時間	-	使用料
アイスクリーム製造装置	アイスクリームの小型製造装置	1日	-	使用料
真空煮詰め機	ジャムや水煮の小型製造装置	1時間	-	使用料
総合定量分析	材料中の微小部に含まれる元素分析	1試料・1成分	-	手数料
荷重試験	木材いす等の耐久性評価で使用する機器	1試料 10,000回以下	-	手数料
荷重試験	木材いす等の耐久性評価で使用する機器	1試料 10,001回から 50,000回まで	-	手数料
荷重試験	木材いす等の耐久性評価で使用する機器	1試料 50,001回以上	-	手数料
液体クロマトグラフによる分析	食品の成分分析(カロチン、ポリフェノール類等)	1試験・1成分	-	手数料
熱拡散率・熱伝導率測定	材料の熱拡散率を測定	1試料	-	手数料

主要事業等の概要（案）

科学技術振興課

<p>事業名又は議案の 名 称</p>	<p>アンモニアサプライチェーン構築実行可能性調査事業【新規】</p>
<p>1 予 算 額</p>	<p>30,000千円</p>
<p>2 現況・課題</p>	<p>政府は2030年度の温室効果ガス46%削減、2050年カーボンニュートラルの実現を目標に掲げ、令和3年10月には、エネルギー基本計画を改定し、再生可能エネルギーの主力電源化のほか、水素・アンモニアを新たな資源として位置付けるエネルギーミックスが示されるなど、カーボンニュートラルに向けた突破口となるエネルギーの一つとして期待されている。</p>
<p>3 必要性・ねらい</p>	<p>水素・アンモニアの大規模な需要創出と効率的なサプライチェーン構築については、国において、「カーボンニュートラル燃料拠点」形成に向けた支援のあり方が検討されており、今後、対象地域が選定され、10年間程度で戦略的な拠点整備が行われる見通しであることから、本県においても、燃料拠点への申請に向けて、アンモニアサプライチェーン構築に係る事業可能性調査を実施する。</p>
<p>4 事業の内容 (事業フロー、 年次別・全体計 画等)</p>	<p>本県を起点とする広域アンモニアサプライチェーンの構築に向けて、燃料アンモニアの調達・貯蔵・輸送・利用等に係る事業実行可能性調査を実施する。</p> <p>【内 容】 アンモニアサプライチェーン基盤・設備整備に係る初期調査 (例) 共同貯蔵タンク・パイプライン等整備検討</p> <p>【委託先】 民間企業（アンモニアの供給・輸送・利用の実施主体及びエンジニアリング等）</p>
<p>5 参考事項 (過去の実績、 他県の状況、 関連データ等)</p>	<p>■ アンモニアサプライチェーン構築・利用ワーキンググループの設置</p> <p>【目 的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カーボンニュートラル燃料拠点申請に向けた体制整備 ・アンモニアサプライチェーン実装に向けたインフラ整備・実証スケジュール等の具体化 <p>【取 組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンモニアサプライチェーン基盤・設備整備に向けた企業間連携促進とフィジビリティスタディ組成 <p>【スケジュール（予定）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年3月設置 ・年3回程度開催



アンモニアサプライチェーン構築実行可能性調査事業（新規）

【R5当初予算額 30百万円】

産業戦略部技術振興局科学技術振興課
研究開発推進G（029-301-2499）

本県を起点とする広域アンモニアサプライチェーンの構築に向けて、燃料アンモニアの調達・貯蔵・輸送・利用等に係る事業実行可能性調査を実施します。

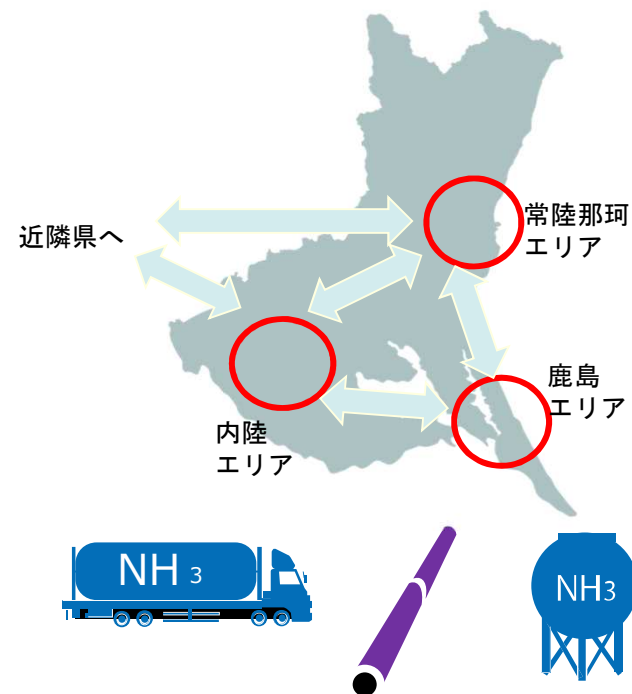
【内容】

アンモニアサプライチェーン基盤・設備整備
に係る初期調査
（例）共同貯蔵タンク・パイプライン等整備検討

【委託先】

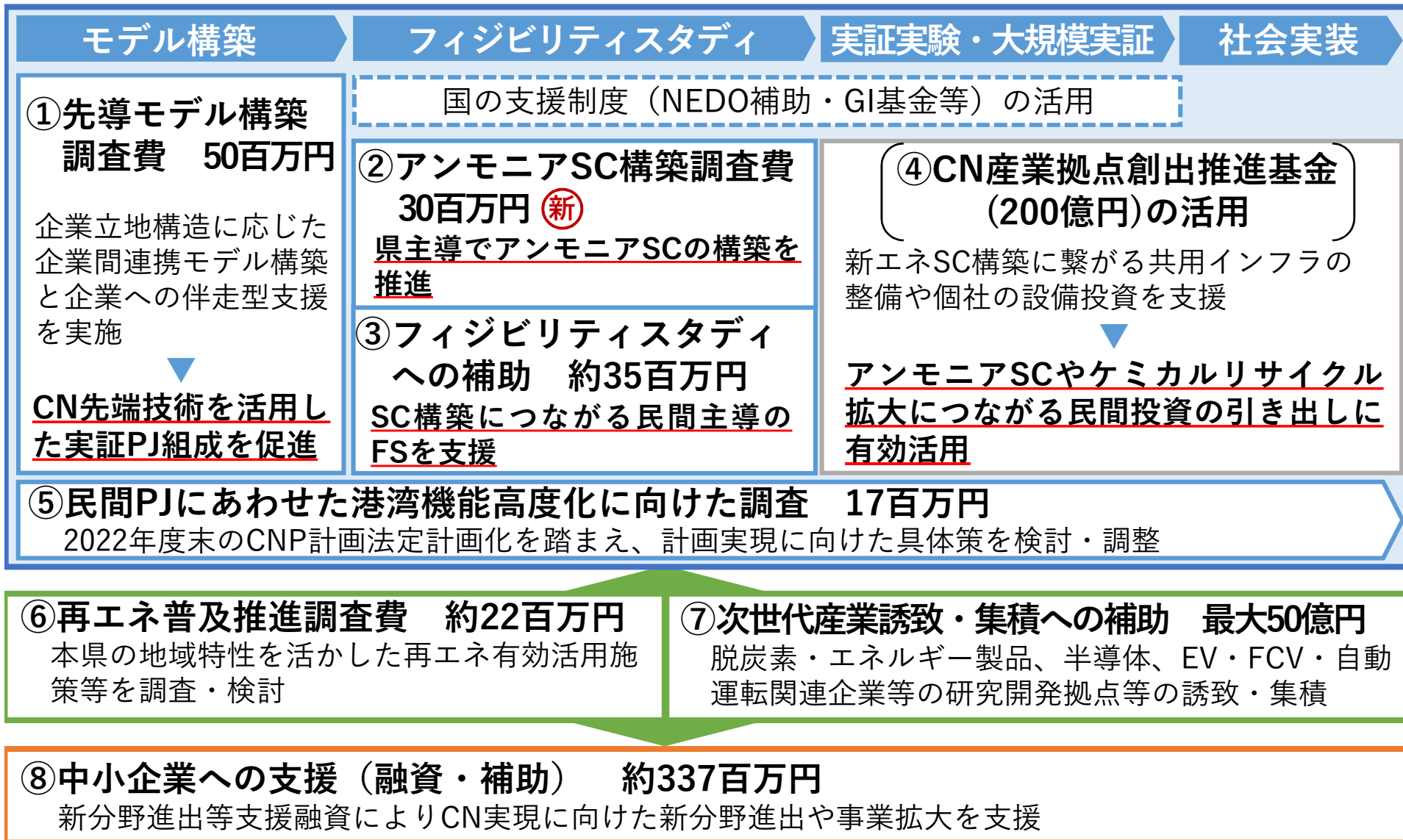
民間企業
（アンモニアの供給・輸送・利用の実施主体及び
エンジニアリング等）

サプライチェーン構築イメージ



CN産業拠点構築に向けた2023年度予算体系（案）

- モデル構築から設備投資まで一貫した支援により、産業分野のCN対応を後押し（①～⑤）
- 再エネの有効活用やCN関連産業誘致により、CN産業拠点の創出をファシリテート（⑥・⑦）
- 地域の産業（中小企業）の円滑なCN対応や新分野進出・事業拡大をサポート（⑧）



主要事業等の概要（案）

科学技術振興課

事業名又は議案の 名 称	いばらき宇宙ビジネス創造拠点プロジェクト
1 予 算 額	63,708千円
2 現況・課題	<p>世界の宇宙市場は、2040年には100兆円超の市場規模に成長するとの予測も示されており、宇宙産業は新たな成長産業として期待されている。</p> <p>国では、「宇宙産業ビジョン2030」や「宇宙ベンチャー育成のための新たな支援パッケージ」の策定に加え、令和2年に閣議決定された宇宙基本計画においては、宇宙活動の自立性を支える産業・科学技術基盤を強化し、宇宙利用を拡大することで、自立した宇宙利用大国となることを目指している。</p>
3 必要性・ねらい	<p>本県には、我が国の宇宙開発の中核機関である「JAXA 筑波宇宙センター」やその関連企業、航空宇宙工学を学べる筑波大学が立地していることなどから、その優位性を活かし宇宙ビジネスの振興を図る必要がある。</p> <p>このため、国や JAXA 等と連携しながら、宇宙ベンチャーの創出・誘致や県内企業の宇宙ビジネスへの参入を、他県に先駆けて積極的に推進することにより、宇宙ビジネスの活性化を図る。</p>
4 事業の内容 (事業フロー、 年次別・全体計 画等)	<p>宇宙ビジネスに挑戦しやすい環境づくりを進め、宇宙ベンチャーの創出・誘致と県内企業の宇宙ビジネスへの新規参入を促進するほか、資金調達や受注拡大に向けた支援により、県内宇宙関連企業のビジネス展開を推進する。</p> <p>【内容】</p> <p>(1) 宇宙ビジネスを支える環境づくり</p> <p>①いばらき宇宙ビジネス創造プラットフォームの運営 ア 「いばらきスペースサポートセンター」を新設 イ JAXA やコンソーシアム会員等の連携に向けた専任コーディネーターを増員 ウ 新たな本県発宇宙ビジネスプレイヤーの発掘・育成に向けたイベントの開催</p> <p>②県産業技術イノベーションセンターとの共同研究等</p> <p>(2) 挑戦するベンチャー、企業等の事業化加速</p> <p>①宇宙関連企業等に対する財政支援 ・外部資金獲得・受注拡大取組、新製品・試作開発、販路開拓等 (補助率 10/10、上限 50 万円、10 件)</p> <p>②県外宇宙関連企業に対する県内拠点設置支援 ・県内拠点新設・移転に係るオフィス賃料 (補助率 1/2、上限 240 万円、3 件)</p>
5 参考事項 (過去の実績、 他県の状況、 関連データ等)	



いばらき宇宙ビジネス創造拠点事業

【R5当初予算額 64百万円】

(R4当初予算額 82百万円)

産業戦略部技術振興局科学技術振興課
特区・宇宙プロジェクト推進室 (029-301-2515)

宇宙ビジネスに挑戦しやすい環境づくりを進め、宇宙ベンチャーの創出・誘致と県内企業の宇宙ビジネスへの新規参入を促進するほか、資金調達や受注拡大に向けた支援により、県内宇宙関連企業のビジネス展開を推進します。

1 宇宙ビジネスを支える環境づくり (52百万円)

○いばらき宇宙ビジネス創造プラットフォームの運営 (45百万円)

- ・「いばらきスペースサポートセンター」を新設
- ・JAXAやコンソーシアム会員等の連携に向けた専任コーディネーターを増員
- ・新たな本県発宇宙ビジネスプレイヤーの発掘・育成に向けたイベントの開催



▲宇宙分野参入希望者に向けたイベントの開催

○県産業技術イノベーションセンターとの共同研究等 (7百万円)

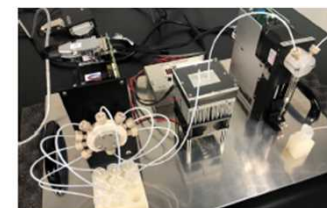
2 挑戦するベンチャー、企業等の事業化加速 (12百万円)

○宇宙関連企業等に対する財政支援 (5百万円)

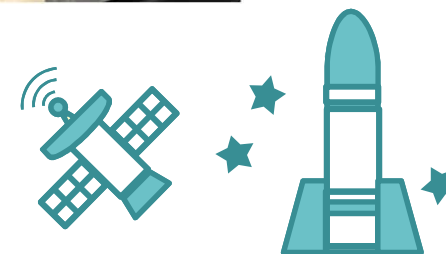
- ・外部資金獲得・受注拡大取組、新製品・試作開発、販路開拓等 (補助率10/10、上限50万円、10件)

○県外宇宙関連企業に対する県内拠点設置支援 (7百万円) 【新規】

- ・県内拠点新設・移転に係るオフィス賃料 (補助率1/2、上限240万円、3件)



◀宇宙空間で身体への放射線影響が解析可能なデバイス開発



条例改正議案「新旧対照表」目次

改正条例の名称	頁
茨城県産業技術イノベーションセンターの使用料及び手数料徴収条例の一部を改正する条例	29

「茨城県産業技術イノベーションセンターの使用料及び手数料条例」新旧対照表

新				旧			
別表第1（第2条関係）使用料				別表第1（第2条関係）使用料			
1 茨城県産業技術イノベーションセンター（茨城県産業技術イノベーションセンター 繊維高分子研究所及び茨城県産業技術イノベーションセンター 笠間陶芸大学校を除く。）				1 茨城県産業技術イノベーションセンター（茨城県産業技術イノベーションセンター 繊維高分子研究所及び茨城県産業技術イノベーションセンター 笠間陶芸大学校を除く。）			
区分	設備の種類	単位	金額(単位 円)	区分	設備の種類	単位	金額(単位 円)
強度試験機器	インストロン万能試験機(15トン)	1時間	1,430	強度試験機器	インストロン万能試験機(15トン)	1時間	1,430
	インストロン万能試験機(60トン)	1時間	1,760		インストロン万能試験機(60トン)	1時間	1,760
	落下試験機	1時間	1,870		落下試験機	1時間	1,870
摩擦・摩耗試験機器	スガ摩耗試験機	1時間	550	摩擦・摩耗試験機器	スガ摩耗試験機	1時間	550
硬度試験機器	微小ビッカース硬さ試験機	1時間	1,320	硬度試験機器	微小ビッカース硬さ試験機	1時間	1,320
	ブリネル硬度計	1時間	560		ブリネル硬度計	1時間	560
	ロックウェル硬度計	1時間	1,320		ロックウェル硬度計	1時間	1,320
物性試験・薄膜作成等機器	熱間埋込機(樹脂の包埋)	1時間	1,100	物性試験・薄膜作成等機器	熱間埋込機(樹脂の包埋)	1時間	1,100
	蛍光エックス線膜厚計	1時間	1,760		蛍光エックス線膜厚計	1時間	1,760
	めっき膜厚計	1時間	230		めっき膜厚計	1時間	230
	微小蛍光エックス線分析装置	1時間	3,200		微小蛍光エックス線分析装置	1時間	3,200
	ICP発光分析装置	1時間	3,300		ICP発光分析装置	1時間	3,300
	マイクロ波加熱分解装置	1時間	2,640		マイクロ波加熱分解装置	1時間	2,640
	赤外分光光度計	1時間	3,300		赤外分光光度計	1時間	3,300
	ドラフトチャンパー	1時間	1,540		ドラフトチャンパー	1時間	1,540
	三次元測定機	1時間	2,860		三次元測定機	1時間	2,860
	金属顕微鏡(組織解析機能付)	1時間	1,540		金属顕微鏡(組織解析機能付)	1時間	1,540
	カーボンコーター(カーボンコーティング)	1時間	880		カーボンコーター(カーボンコーティング)	1時間	880
	スパッタリング装置	1時間	1,980		スパッタリング装置	1時間	1,980
	雰囲気中液体急冷装置(アモルファス合金製造)	1時間	2,200		雰囲気中液体急冷装置(アモルファス合金製造)	1時間	2,200
	走査型電子顕微鏡	1時間	3,410		走査型電子顕微鏡	1時間	3,410
	モノクロメーター付キセノンランプ	1時間	1,100		モノクロメーター付キセノンランプ	1時間	1,100
	粒度分布測定装置	1時間	1,650		粒度分布測定装置	1時間	1,540
	走査型プローブ顕微鏡	1時間	5,830		走査型プローブ顕微鏡	1時間	5,830
	試料研磨機	1時間	1,100		試料研磨機	1時間	1,100
	放電プラズマ焼結装置	1時間	2,420		放電プラズマ焼結装置	1時間	2,420
	ラマン分光分析装置	1時間	2,200		ラマン分光分析装置	1時間	2,200
	表面粗さ輪郭形状測定機	1時間	1,870		表面粗さ輪郭形状測定機	1時間	1,870
	炭素硫黄分析装置	1時間	2,760		炭素硫黄分析装置	1時間	2,760
	エックス線残留応力測定装置	1時間	2,970		エックス線残留応力測定装置	1時間	2,970
	レーザー顕微鏡	1時間	2,090		レーザー顕微鏡	1時間	2,090
	イオンミリング装置	1時間	2,310		イオンミリング装置	1時間	2,310
	分光光度計	1時間	2,750		分光光度計	1時間	2,750
桌上SEM	1時間	2,310	桌上SEM	1時間	2,310		
デジタルマイクロスコープ	1時間	440	デジタルマイクロスコープ	1時間	440		
真円度測定機	1時間	2,310					

洗浄関連機器	画像測定機	1時間	1,870	洗浄関連機器	ファイナバブル発生装置	1時間	1,540	
電気試験機器	ファイナバブル発生装置	1時間	1,540	電気試験機器	RFイミュニティ機器	1時間	4,950	
	RFイミュニティ機器	1時間	4,950		耐ノイズ試験機	1時間	3,960	
	耐ノイズ試験機	1時間	3,960		EMI機器	1時間	4,730	
	EMI機器	1時間	4,730		電源変動許容度試験器	1時間	2,640	
	電源変動許容度試験器	1時間	2,640		絶縁耐圧試験器	1時間	660	
	絶縁耐圧試験器	1時間	660		漏れ電流試験器	1時間	660	
	漏れ電流試験器	1時間	660		抵抗計	1時間	660	
	抵抗計	1時間	660		通信環境評価装置	1時間	3,630	
	通信環境評価装置	1時間	3,630		電磁界可視化装置	1時間	2,640	
	電磁界可視化装置	1時間	2,640		汎用型オシロスコープ	1時間	550	
	汎用型オシロスコープ	1時間	550		耐候試験機器	携帯用分光式色差計	1時間	660
	耐候試験機器	削除	削除			耐候試験機器	携帯用光沢計	1時間
削除		削除	恒温恒湿器	1時間を超え、1時間ごとに			660	
恒温恒湿器		1時間	2,970	卓上型塩水噴霧試験機	1時間		1,430	
微生物試験関連機器	卓上型塩水噴霧試験機	1時間	1,430	微生物試験関連機器	オートクレーブ	1時間	660	
	オートクレーブ	1時間	660		低温恒温器	1日	1,320	
金属工作機械	低温恒温器	1日	1,320	金属工作機械	鏡の研磨	1時間	1,170	
	鏡の研磨	1時間	1,170		切断機	1時間	880	
	切断機	1時間	880		シャーリングマシン	1時間	880	
	シャーリングマシン	1時間	880		油圧サーボプレス機(110トン)	1時間	3,960	
	油圧サーボプレス機(110トン)	1時間	3,960		ダイカストマシンシステム	1日	175,450	
	ダイカストマシンシステム	1日	175,450		温間圧延機	1日	33,000	
	温間圧延機	1日	33,000		ダイヤモンドワイヤー切断機	1時間	4,180	
	ダイヤモンドワイヤー切断機	1時間	4,180		木材工作機械	角のみ機	1時間	120
木材工作機械	角のみ機	1時間	120	超仕上げ盤		1時間	600	
	超仕上げ盤	1時間	600	手押し鉋盤		1時間	440	
	手押し鉋盤	1時間	440	バンドソー		1時間	440	
	バンドソー	1時間	440	昇降盤		1時間	230	
	昇降盤	1時間	230	自動一面鉋盤		1時間	950	
	自動一面鉋盤	1時間	950	木工旋盤	1時間	230		
設計支援機器	木工旋盤	1時間	230	設計支援機器	大判インクジェットプリンタ	1枚・B0判	2,200	
	設計支援機器	大判インクジェットプリンタ	1枚・B0判		2,200	1枚・A0判	1,760	
		1枚・A0判	1,760		1枚・A1判	1,320		
		1枚・A1判	1,320		1枚・A2判	1,100		
		1枚・A2判	1,100		削除	削除		
	削除	削除	簡易3Dスキャナ		1時間	330		
簡易3Dスキャナ	1時間	330	三次元デジタルタイザ	1時間	1,870			
自動化技術支援機器	三次元デジタルタイザ	1時間	1,870	自動化技術支援機器	加工工程模擬ライン装置	1時間	1,210	
	加工工程模擬ライン装置	1時間	1,210		組立工程模擬ライン装置	1時間	1,210	
	組立工程模擬ライン装置	1時間	1,210		検査工程模擬ライン装置	1時間	1,210	
	検査工程模擬ライン装置	1時間	1,210		画像検証システム	1時間	1,430	
画像検証システム	1時間	1,430						

食品等分析・ 観察機器	アルコール分析機	1時間	660
	ガス透過率測定機	1時間	2,530
	赤外線水分計	1時間	880
	穀粒判別機	1時間	990
	水分活性測定装置	1時間	990
	テンシプレッサー	1時間	880
食品加工試験機	高温高圧調理滅菌機	1時間	1,660
	ドラムドライヤー	1時間	1,000
	微粉砕試験機	1時間	1,000
	削除	削除	削除
	ビンミル	1時間	1,650
	オープン	1時間	770
	スチーマーボックス	1時間	770
	削除	削除	削除
	削除	削除	削除
	製麺機	1時間	2,200
	真空凍結乾燥機	1時間	880
	人工太陽照明システム	1時間	880
	加圧釜	1時間	1,210
食品加工機器	試験用精米機	1時間	770
	蒸米機	1時間	880
	製品濾過機	1時間	770
	圧搾機	1時間	880
	醸造用小型精米機	1時間	1,430

食品等分析・ 観察機器	アルコール分析機	1時間	660
	ガス透過率測定機	1時間	2,530
	赤外線水分計	1時間	880
	穀粒判別機	1時間	990
	水分活性測定装置	1時間	990
食品加工試験機	高温高圧調理滅菌機	1時間	1,660
	ドラムドライヤー	1時間	1,000
	微粉砕試験機	1時間	1,000
	ロールミル	1時間	1,650
	ビンミル	1時間	1,650
	オープン	1時間	770
	スチーマーボックス	1時間	770
	アイスクリーム製造装置	1日	2,420
	真空煮詰め機	1時間	1,660
	製麺機	1時間	2,200
	真空凍結乾燥機	1時間	880
	人工太陽照明システム	1時間	880
	加圧釜	1時間	1,210
食品加工機器	試験用精米機	1時間	770
	蒸米機	1時間	880
	製品濾過機	1時間	770
	圧搾機	1時間	880
	醸造用小型精米機	1時間	1,430

2 茨城県産業技術イノベーションセンター繊維高分子研究所

区分	設備の種類	単位	金額(単位 円)	
加工機類	力織機	1日	1,060	
		1時間	660	
	整経機	1時間を超え、1時間ごとに	220	
	繰返機	1日	600	
	揚返機	1日	600	
		1時間	660	
	燃ねん糸機	1時間を超え、1時間ごとに	120	
	広幅整理機	1時間	1,100	
	小型レピア試験機	1日	2,530	
	遠心脱水機	1時間	660	
	手動式かせ揚げ機	1日	660	
	卓上型手織機	1日	660	
	射出成形機	1時間	2,860	
	マングル	1時間	660	
	自動柄織機システム	1時間	3,520	
	大判プリンタ	1枚・A1判	880	
	設計図案システム	1時間	660	
	レバー式試料裁断機	1時間	660	
	プレス成形機(真空機能なし)	1時間	1,760	
	プレス成形機(真空機能あり)	1時間	2,420	
	ミクロトーム	1時間	1,980	
	凍結粉砕機	1時間	990	
	切断機	1時間	1,760	
	自動研磨機	1時間	1,100	
	ワインダー	1時間	1,100	
	サイジング機	1時間	1,100	
	ホールゲージメントコンピューター横編機	1時間	2,530	
	試験機器類	万能試験機	1時間	1,320
		通気度試験機	1時間	440
		電子顕微鏡	1時間	1,870
メルトインデクサ		1時間	660	
試料作成機		1時間	440	
万能振子式衝撃試験機		1時間	540	
デジタルマイクロスコープ		1時間	1,650	
超音波洗浄機		1時間	660	
布用厚さ測定器		1時間	560	
送風定温乾燥機		1時間	560	
接触角計		1時間	660	

2 茨城県産業技術イノベーションセンター繊維高分子研究所

区分	設備の種類	単位	金額(単位 円)	
加工機類	力織機	1日	1,060	
		1時間	660	
	整経機	1時間を超え、1時間ごとに	220	
	繰返機	1日	600	
	揚返機	1日	600	
		1時間	660	
	燃ねん糸機	1時間を超え、1時間ごとに	120	
	広幅整理機	1時間	1,100	
	小型レピア試験機	1日	2,530	
	遠心脱水機	1時間	660	
	手動式かせ揚げ機	1日	660	
	卓上型手織機	1日	660	
	射出成形機	1時間	2,860	
	マングル	1時間	660	
	自動柄織機システム	1時間	3,520	
	大判プリンタ	1枚・A1判	880	
	設計図案システム	1時間	660	
	レバー式試料裁断機	1時間	660	
	プレス成形機(真空機能なし)	1時間	1,760	
	プレス成形機(真空機能あり)	1時間	2,420	
	ミクロトーム	1時間	1,980	
	凍結粉砕機	1時間	990	
	切断機	1時間	1,760	
	自動研磨機	1時間	1,100	
	ワインダー	1時間	1,100	
	サイジング機	1時間	1,100	
	ホールゲージメントコンピューター横編機	1時間	2,530	
	試験機器類	万能試験機	1時間	1,320
		通気度試験機	1時間	440
		電子顕微鏡	1時間	1,870
メルトインデクサ		1時間	660	
試料作成機		1時間	440	
万能振子式衝撃試験機		1時間	540	
デジタルマイクロスコープ		1時間	1,650	
超音波洗浄機		1時間	660	
布用厚さ測定器		1時間	560	
送風定温乾燥機		1時間	560	
接触角計		1時間	660	

破断観察装置(高速度カメラ)	1時間	2,090
分光測色計	1時間	660
ドライクリーニング試験機	1時間	770
赤外線水分計	1時間	660
引裂試験機	1時間	660
変角光沢計	1時間	770
摩擦堅ろう度試験機	1時間	660
熱分析装置	1時間	3,520
PVT装置	1時間	3,630
熱拡散率・熱伝導率測定装置	1時間	3,740
赤外分光光度計	1時間	2,640
恒温恒湿器	1時間	770
RES風合い試験機	引張せん断試験機	1,210
	純曲げ試験機	1,210
	大型曲げ試験機	1,210
	圧縮試験機	1,100
	表面試験機	1,210
	表面摩擦試験機	1,210
	サーモゾボ	1,100
	大型ねじり試験機	1,210

破断観察装置(高速度カメラ)	1時間	2,090
分光測色計	1時間	660
ドライクリーニング試験機	1時間	770
赤外線水分計	1時間	660
引裂試験機	1時間	660
変角光沢計	1時間	770
摩擦堅ろう度試験機	1時間	660
熱分析装置	1時間	3,520
PVT装置	1時間	3,630
熱拡散率・熱伝導率測定装置	1時間	3,740
赤外分光光度計	1時間	2,640
恒温恒湿器	1時間	770

手数料

「茨城県産業技術イノベーションセンターの使用料及び手数料条例」新旧対照表

別表第2(第2条関係)手数料

1 茨城県産業技術イノベーションセンター(茨城県産業技術イノベーションセンター 繊維高分子研究所及び茨城県産業技術イノベーションセンター笠間陶芸大学を除く。)

分析	新		金額(単位:円)		
	区分	単位			
定性分析	微小蛍光エックス線分析装置によるもの(マッピング分析以外のもの) 微小蛍光エックス線分析装置によるマッピング分析 電子顕微鏡によるもの FT-IRによるもの 赤外線顕微鏡によるもの XPS測定装置による表面分析 XPS測定装置による深さ方向分析 ラマン分光分析装置によるもの エックス線回折装置によるもの 卓上SEMによるもの ポータブル蛍光エックス線分析装置によるもの	1試料・1測定	3,960		
		1試料・1測定	6,600		
		1試料・1箇所(写真1枚付)	8,420		
		1試験・1測定	5,060		
		1試験・1測定	6,930		
		1試験・1測定	16,610		
		1試験・1測定(1条件増すごとに)	10,120		
		1試験・1測定	88,560		
		1試験・1測定	4,300		
		1試料・1測定	13,200		
		1試料・1箇所	3,520		
		1試料・1測定	2,420		
		定量分析	pH値測定	1試料	720
			削除	削除	削除
			ICP発光分析装置によるもの	1試料・1成分	4,840
			炭素硫黄分析装置によるもの	1試験・1測定	4,510
			マイクロ波加熱分解装置によるもの	1試料	6,380
		前処理	マニピュレータマイクロスコープによるもの	1試料	5,610
			ダイヤモンドワイヤー切断機によるもの	1件	3,410
			その他前処理	1時間	3,410
材料強度試験等	材料強度試験等		インストロン万能試験機(15トン)によるもの インストロン万能試験機(15トン)のアライメント調整 インストロン万能試験機(60トン)によるもの	1試料・1項目 1件 1試料・1項目	3,520 11,000 4,070
硬度試験	微小ビッカース硬さ試験機によるもの ブリネル硬度計によるもの ロックウェル硬度計によるもの	1試料・3点測定	1,540		
		(追加1点増すごとに)	340		
		1試料・3点測定	1,320		
		(追加1点増すごとに)	340		
		1試料・3点測定	1,430		
(追加1点増すごとに)	440				
疲労試験	疲労試験機によるもの(恒温槽の利用なし) 疲労試験機によるもの(恒温槽の利用あり) 疲労試験機(15kN)によるもの(高温炉の利用なし) 疲労試験機(15kN)によるもの(高温炉の利用あり)	1試料・1時間	7,590		
		1時間を超え, 1試料1時間ごとに	660		
		1試料・1時間	9,570		
		1時間を超え, 1試料1時間ごとに	770		
		1試料・1時間	10,120		
1時間を超え, 1試料1時間ごとに	1,320				
1試料・1時間	10,450				
1時間を超え, 1試料1時間ごとに	1,650				

別表第2(第2条関係)手数料

1 茨城県産業技術イノベーションセンター(茨城県産業技術イノベーションセンター 繊維高分子研究所及び茨城県産業技術イノベーションセンター笠間陶芸大学を除く。)

分析	旧		金額(単位:円)		
	区分	単位			
定性分析	微小蛍光エックス線分析装置によるもの(マッピング分析以外のもの) 微小蛍光エックス線分析装置によるマッピング分析 電子顕微鏡によるもの FT-IRによるもの 赤外線顕微鏡によるもの XPS測定装置による表面分析 XPS測定装置による深さ方向分析 ラマン分光分析装置によるもの エックス線回折装置によるもの 卓上SEMによるもの ポータブル蛍光エックス線分析装置によるもの	1試料・1測定	3,520		
		1試料・1測定	5,720		
		1試料・1箇所(写真1枚付)	8,420		
		1試験・1測定	5,060		
		1試験・1測定	6,930		
		1試験・1測定	16,610		
		1試験・1測定(1条件増すごとに)	10,120		
		1試験・1測定	88,560		
		1試験・1測定	4,300		
		1試料・1測定	13,200		
		1試料・1箇所	3,520		
		1試料・1測定	2,420		
		定量分析	pH値測定	1試料	600
			総合金量分析	1試料・1成分	3,860
			ICP発光分析装置によるもの	1試料・1成分	4,840
			炭素硫黄分析装置によるもの	1試験・1測定	4,510
			マイクロ波加熱分解装置によるもの	1試料	6,380
		前処理	マニピュレータマイクロスコープによるもの	1試料	5,610
			ダイヤモンドワイヤー切断機によるもの	1件	3,410
			その他前処理	1時間	3,410
材料強度試験等	材料強度試験等		インストロン万能試験機(15トン)によるもの インストロン万能試験機(15トン)のアライメント調整 インストロン万能試験機(60トン)によるもの	1試料・1項目 1件 1試料・1項目	3,520 11,000 4,070
硬度試験	微小ビッカース硬さ試験機によるもの ブリネル硬度計によるもの ロックウェル硬度計によるもの	1試料・3点測定	1,540		
		(追加1点増すごとに)	340		
		1試料・3点測定	1,320		
		(追加1点増すごとに)	340		
		1試料・3点測定	1,430		
(追加1点増すごとに)	440				
疲労試験	疲労試験機によるもの(恒温槽の利用なし) 疲労試験機によるもの(恒温槽の利用あり) 疲労試験機(15kN)によるもの(高温炉の利用なし) 疲労試験機(15kN)によるもの(高温炉の利用あり)	1試料・1時間	7,590		
		1時間を超え, 1試料1時間ごとに	660		
		1試料・1時間	9,570		
		1時間を超え, 1試料1時間ごとに	770		
		1試料・1時間	10,120		
1時間を超え, 1試料1時間ごとに	1,320				
1試料・1時間	10,450				
1時間を超え, 1試料1時間ごとに	1,650				

性能試験(長期性能試験)	耐食試験	平面曲げ疲労試験機によるもの	1試料・1時間	8,690	
		1時間を超え, 1試料1時間ごとに	1,540		
		低歪ひずみ速度試験	低歪ひずみ速度試験機によるもの(恒温槽の利用なし)	1試料・1時間	6,380
		1時間を超え, 1試料1時間ごとに	1,540		
		低歪ひずみ速度試験機によるもの(恒温槽の利用あり)	1試料・1時間	6,600	
		1時間を超え, 1試料1時間ごとに	1,650		
		残留応力測定	エックス線残留応力測定装置によるもの(弾性定数測定以外のもの) エックス線残留応力測定装置による弾性定数測定	1測定 1試料	4,620 6,930
		非破壊試験(エックス線CT装置によるもの)	1試料・1時間	11,990	
		1時間を超え, 1試料1時間ごとに	8,910		
		焼結試験	1件	8,360	
		焼結試験	1件・1時間	1,440	
		透過率・反射率・吸光度測定	1試料・1測定	4,840	
		塩水噴霧試験等(卓上型塩水噴霧試験機以外によるもの)	1件・24時間	6,710	
		卓上型塩水噴霧試験機による塩水噴霧試験等	1件・24時間	4,730	
		塩乾湿複合サイクル試験等	1件・8時間 8時間を超え, 1件8時間ごとに	11,880 4,960	
写真撮影	1枚	330			
削除	削除	削除			
劣化試験	1件・1時間 1時間を超え, 1件1時間ごとに	3,190 660			
木材試験	木材含水率測定に係るもの	1件(5試料)	600		
	木材比重測定に係るもの	1件(5試料)	1,270		
表面処理試験	膜厚試験	電解式膜厚計によるもの 蛍光エックス線膜厚計によるもの	1試料・1測定 1試料・1測定	2,200 3,410	
	引っかかり硬度(鉛筆法)	1件	2,860		
	付着性(クロスカット法)	1件	2,760		
	精度試験	精密測定	三次元測定機によるもの 表面粗さ輪郭形状測定機によるもの 真円度測定機によるもの 画像測定機によるもの	1試料・1要素測定 1試料・1測定 自動測定の追加・1測定 1試料・1測定 1試料・1測定	2,860 2,200 550 2,530 2,200
金属試験	金属組織試験	金属顕微鏡によるもの	1試験・1箇所(写真1枚付)	1,980	
		金属顕微鏡による解析	1解析	1,430	
		走査型電子顕微鏡によるもの	1試験・1箇所(写真1枚付)	3,200	
		デジタルマイクロスコープによるもの	1試験・1箇所(写真1枚付)	2,090	
		走査型プローブ顕微鏡によるもの	1試料・1測定	12,210	
		結晶方位測定	1試料・1測定	14,410	
		卓上SEMによるもの	1試験・1箇所	2,640	
		走査型プローブ顕微鏡によるもの(環境制御ユニット使用)	1試料・1測定	20,350	
		金属材料摩耗試験	1件・1時間	2,640	

性能試験(長期性能試験)	耐食試験	平面曲げ疲労試験機によるもの	1試料・1時間	8,690	
		1時間を超え, 1試料1時間ごとに	1,540		
		低歪ひずみ速度試験	低歪ひずみ速度試験機によるもの(恒温槽の利用なし)	1試料・1時間	6,380
		1時間を超え, 1試料1時間ごとに	1,540		
		低歪ひずみ速度試験機によるもの(恒温槽の利用あり)	1試料・1時間	6,600	
		1時間を超え, 1試料1時間ごとに	1,650		
		残留応力測定	エックス線残留応力測定装置によるもの(弾性定数測定以外のもの) エックス線残留応力測定装置による弾性定数測定	1測定 1試料	4,620 6,930
		非破壊試験(エックス線CT装置によるもの)	1試料・1時間	11,990	
		1時間を超え, 1試料1時間ごとに	8,910		
		焼結試験	1件	8,360	
		焼結試験	1件・1時間	1,440	
		透過率・反射率・吸光度測定	1試料・1測定	4,840	
		塩水噴霧試験等(卓上型塩水噴霧試験機以外によるもの)	1件・24時間	6,710	
		卓上型塩水噴霧試験機による塩水噴霧試験等	1件・24時間	4,730	
		塩乾湿複合サイクル試験等	1件・8時間 8時間を超え, 1件8時間ごとに	11,880 4,960	
写真撮影	1枚	330			
荷重試験	1試料10,000回以下 1試料10,001回から50,000回まで 1試料50,001回以上	2,920 4,800 8,070			
劣化試験	1件・1時間 1時間を超え, 1件1時間ごとに	3,190 660			
木材試験	木材含水率測定に係るもの	1件(5試料)	600		
	木材比重測定に係るもの	1件(5試料)	1,270		
表面処理試験	膜厚試験	電解式膜厚計によるもの 蛍光エックス線膜厚計によるもの	1試料・1測定 1試料・1測定	2,200 3,410	
	引っかかり硬度(鉛筆法)	1件	2,860		
	付着性(クロスカット法)	1件	2,760		
	精度試験	精密測定	三次元測定機によるもの 表面粗さ輪郭形状測定機によるもの	1試料・1要素測定 1試料・1測定 自動測定の追加・1測定	2,860 2,200 550
金属試験	金属組織試験	金属顕微鏡によるもの	1試験・1箇所(写真1枚付)	1,980	
		金属顕微鏡による解析	1解析	1,430	
		走査型電子顕微鏡によるもの	1試験・1箇所(写真1枚付)	3,200	
		デジタルマイクロスコープによるもの	1試験・1箇所(写真1枚付)	2,090	
		走査型プローブ顕微鏡によるもの	1試料・1測定	12,210	
		結晶方位測定	1試料・1測定	14,410	
		卓上SEMによるもの	1試験・1箇所	2,640	
		走査型プローブ顕微鏡によるもの(環境制御ユニット使用)	1試料・1測定	20,350	
		金属材料摩耗試験	1件・1時間	2,640	

前処理	試料埋込	1試料	1,210		
	試料研磨	1試料	2,970		
	試料蒸着処理	1試料	880		
	結晶方位測定用処理	1試料	11,770		
	イオンミリング	1時間	3,080		
	試料切取	0.5時間	1,980		
	設計支援	三次元形状データ作成(CAD)	1件・1時間	3,520	
		解析シミュレーション(CAE)	設定	1件・1時間	3,520
			計算	1件・1時間	660
		塑性加工解析(CAE)	設定	1件・1時間	5,720
計算			1件・1時間	2,420	
模型試作(CAM)		設定	1件・1時間	3,300	
		加工	1件・1時間	340	
3Dプリンタ(インクジェット式)		設定	1件・1時間	3,630	
		造形	1件・1時間	1,100	
3Dプリンタ(熱溶解積層法)		設定	1件・1時間	3,630	
	樹脂造形	1件・1時間	880		
FRP造形	1件・1時間	1,650			
	形状測定	1時間	4,400		
三次元デジタルイザによるもの	データ処理	1時間	990		
	電磁界解析(CAE)	設定	1件・1時間	7,040	
計算	1件・1時間	3,960			
	3Dモデリングマシン	設定	1件・1時間	3,520	
造形		1件・1時間	660		
立体造形装置	設定	1件・1時間	3,740		
	造形	1件・1時間	770		
電気試験	絶縁耐圧試験	1試験・1測定	880		
	ノイズ耐性試験	1件・0.5時間	2,530		
	RFイミュニティ試験	1件・1時間	7,260		
	EMI試験	1件・1時間	7,260		
	電磁ノイズ源探査(電磁界可視化装置によるもの)	1件・1時間	4,290		
	電気計測(抵抗計によるもの)	1試験・1測定	990		
	電気計測(デジタルマルチメータによるもの)	1試験・1測定	990		
	前環境試験	冷熱衝撃試験	1件・1時間	4,620	
		1時間を超え、1件1時間ごとに	1,980		
	自動化技術支援	模擬スマート工場を利用した動作検証	1件・1時間	3,630	
模擬スマート工場用プログラム作成		1件・1時間	3,410		
撮像検証システムによるもの		1試料・1測定	1,650		

前処理	試料埋込	1試料	1,210		
	試料研磨	1試料	2,970		
	試料蒸着処理	1試料	880		
	結晶方位測定用処理	1試料	11,770		
	イオンミリング	1時間	3,080		
	試料切取	0.5時間	1,980		
	設計支援	三次元形状データ作成(CAD)	1件・1時間	3,520	
		解析シミュレーション(CAE)	設定	1件・1時間	3,520
			計算	1件・1時間	660
		塑性加工解析(CAE)	設定	1件・1時間	5,720
計算			1件・1時間	2,420	
模型試作(CAM)		設定	1件・1時間	3,300	
		加工	1件・1時間	340	
3Dプリンタ(インクジェット式)		設定	1件・1時間	3,630	
		造形	1件・1時間	1,100	
3Dプリンタ(熱溶解積層法)		設定	1件・1時間	3,630	
	樹脂造形	1件・1時間	880		
FRP造形	1件・1時間	1,650			
	形状測定	1時間	4,400		
三次元デジタルイザによるもの	データ処理	1時間	990		
	電磁界解析(CAE)	設定	1件・1時間	7,040	
計算	1件・1時間	3,960			
	3Dモデリングマシン	設定	1件・1時間	3,520	
造形		1件・1時間	660		
電気試験	絶縁耐圧試験	1試験・1測定	880		
	ノイズ耐性試験	1件・0.5時間	2,530		
	RFイミュニティ試験	1件・1時間	7,260		
	EMI試験	1件・1時間	7,260		
	電磁ノイズ源探査(電磁界可視化装置によるもの)	1件・1時間	4,290		
	電気計測(抵抗計によるもの)	1試験・1測定	990		
	電気計測(デジタルマルチメータによるもの)	1試験・1測定	990		
	前環境試験	冷熱衝撃試験	1件・1時間	4,620	
		1時間を超え、1件1時間ごとに	1,980		
	自動化技術支援	模擬スマート工場を利用した動作検証	1件・1時間	3,630	
模擬スマート工場用プログラム作成		1件・1時間	3,410		
撮像検証システムによるもの		1試料・1測定	1,650		

食品の分析、試験等	一般分析	定性分析	1試料・1成分	660	
		定量分析	1試料・1成分	880	
		機器分析	1試料・1成分	1,760	
		ガスクロマトグラフによる分析	1試料・1測定	7,160	
		削除	削除	削除	
		生物顕微鏡による分析	1試験・1測定	1,430	
		ヘッドスペースGC/MSによる定性分析	1試料・1測定	12,650	
	特殊分析	定性分析	1試料・1成分	2,690	
		定量分析	1試料・1成分	5,140	
		機器分析	1試料・1成分	5,960	
	栄養成分分析	アミノ酸	指定アミノ酸17種類	45,540	
		指定アミノ酸35種類	50,930		
		窒素分析	1試料・1成分	2,640	
	脂肪分析	1試料・1成分	4,620		
		測定試験	比重、屈折度等の測定	1試料・1項目	470
	溶解度、粘度等の測定		1試料・1項目	1,430	
	精密測定試験		1試料・1項目	2,920	
	食品硬度等測定試験		1試料・1測定	2,100	
	糖でん粉糊化特性測定試験(試験条件のプログラム作成なし)		1試験・1測定	2,640	
	糖でん粉糊化特性測定試験(試験条件のプログラム作成あり)		1試験・1測定	3,740	
	水分活性測定		1試験・1測定	1,540	
	ガス透過率測定		1試料・1項目	8,690	
	細菌検査		一般細菌検査(一般生菌数、大腸菌群等)	1試料・1項目	3,200
			特殊細菌検査(黄色ブドウ球菌等)	1試料・1項目	6,060
		その他の細菌検査(真菌、酵母等)	1試料・1項目	4,400	
酵素試験	酵素力価測定(酸性カルボキシペプチダーゼ)	1試料・1項目	5,490		
	酵素力価測定(グルコamilラーゼ)	1試料・1項目	3,960		
	酵素力価測定(α-アミラーゼ)	1試料・1項目	3,190		
抗菌試験	1試料・1項目	28,160			
保存試験	30日以内のもの1試料	2,810			
官能検査	1試料	600			
成継書交付	1通	560			

備考 職員の派遣を要する試験、分析、検査、調整、加工等に係る手数料の額は、この表に掲げる額に職員の派遣に要する時間1時間までごとに3,520円を加算した額とする。

食品の分析、試験等	一般分析	定性分析	1試料・1成分	660	
		定量分析	1試料・1成分	880	
		機器分析	1試料・1成分	1,760	
		ガスクロマトグラフによる分析	1試料・1測定	7,160	
		削除	削除	削除	
		生物顕微鏡による分析	1試験・1測定	1,430	
		ヘッドスペースGC/MSによる定性分析	1試料・1測定	12,650	
	特殊分析	定性分析	1試料・1成分	2,690	
		定量分析	1試料・1成分	5,140	
		機器分析	1試料・1成分	5,960	
	栄養成分分析	アミノ酸	指定アミノ酸17種類	33,880	
		指定アミノ酸35種類	35,860		
		窒素分析	1試料・1成分	2,640	
	脂肪分析	1試料・1成分	4,620		
		測定試験	比重、屈折度等の測定	1試料・1項目	470
	溶解度、粘度等の測定		1試料・1項目	1,430	
	精密測定試験		1試料・1項目	2,920	
	食品硬度等測定試験		1試料・1測定	2,100	
	糖でん粉糊化特性測定試験(試験条件のプログラム作成なし)		1試験・1測定	2,640	
	糖でん粉糊化特性測定試験(試験条件のプログラム作成あり)		1試験・1測定	3,740	
	水分活性測定		1試験・1測定	1,540	
	ガス透過率測定		1試料・1項目	8,690	
	細菌検査		一般細菌検査(一般生菌数、大腸菌群等)	1試料・1項目	3,200
			特殊細菌検査(黄色ブドウ球菌等)	1試料・1項目	6,060
		その他の細菌検査(真菌、酵母等)	1試料・1項目	4,400	
酵素試験	酵素力価測定(酸性カルボキシペプチダーゼ)	1試料・1項目	5,490		
	酵素力価測定(グルコamilラーゼ)	1試料・1項目	3,960		
	酵素力価測定(α-アミラーゼ)	1試料・1項目	3,190		
抗菌試験	1試料・1項目	28,160			
保存試験	30日以内のもの1試料	2,810			
官能検査	1試料	600			
成継書交付	1通	560			

備考 職員の派遣を要する試験、分析、検査、調整、加工等に係る手数料の額は、この表に掲げる額に職員の派遣に要する時間1時間までごとに3,520円を加算した額とする。

2 茨城県産業技術イノベーションセンター繊維高分子研究所

区分		単位	金額(単位 円)
試験又は分析	各種繊維の織度、織維長、強伸度、水分率その他の物理的性状の試験又は分析	簡単なもの	1件(1事項) 1,870
		やや複雑なもの	1件(1事項) 3,860
		複雑なもの	1件(1事項) 5,850
	各種糸の太さ、より数、強伸度、糸むらその他の物理的性状の試験	簡単なもの	1件(1事項) 1,870
		やや複雑なもの	1件(1事項) 3,860
		複雑なもの	1件(1事項) 5,850
	織物又は編物の目付、強伸度、通気性その他の物理的性状の試験	簡単なもの	1件(1事項) 1,870
		やや複雑なもの	1件(1事項) 3,860
		複雑なもの	1件(1事項) 5,730
	織物又は編物の組織分解又は設計	簡単なもの	1件(1事項) 1,870
	やや複雑なもの	1件(1事項) 3,860	
	複雑なもの	1件(1事項) 5,960	
精練、漂白、染色、糊付のりづけ、仕上げその他の加工試験		1件(1事項)	2,810以上 9,580以下
染色堅ろう度試験	熱湯、水、汗、洗濯、摩擦等	1件(1事項)	1,270
	耐光(キセノンウェザーメーターによるもの)	1件(5試料)・4級まで又は6.5時間まで	2,640
		1件(5試料)・5級又は6.5時間を超え、12時間まで	4,180
		12時間を超え、1件1時間ごとに	340
	耐光(フェードメーターによるもの)	1件・3級まで又は6時間まで	4,730
	6時間を超え、1件1時間ごとに	660	
耐候試験	1件(5試料)・8時間	3,080	
	8時間を超え、1件1時間ごとに	340	
耐光試験(フェードメーターによるもの)	1件(5試料)・1時間	1,540	
	追加5試料ごとに	330	
	1時間を超え、1件1時間ごとに	660	

2 茨城県産業技術イノベーションセンター繊維高分子研究所

区分		単位	金額(単位 円)
試験又は分析	各種繊維の織度、織維長、強伸度、水分率その他の物理的性状の試験又は分析	簡単なもの	1件(1事項) 1,870
		やや複雑なもの	1件(1事項) 3,860
		複雑なもの	1件(1事項) 5,850
	各種糸の太さ、より数、強伸度、糸むらその他の物理的性状の試験	簡単なもの	1件(1事項) 1,870
		やや複雑なもの	1件(1事項) 3,860
		複雑なもの	1件(1事項) 5,850
	織物又は編物の目付、強伸度、通気性その他の物理的性状の試験	簡単なもの	1件(1事項) 1,870
		やや複雑なもの	1件(1事項) 3,860
		複雑なもの	1件(1事項) 5,730
	織物又は編物の組織分解又は設計	簡単なもの	1件(1事項) 1,870
	やや複雑なもの	1件(1事項) 3,860	
	複雑なもの	1件(1事項) 5,960	
精練、漂白、染色、糊付のりづけ、仕上げその他の加工試験		1件(1事項)	2,810以上 9,580以下
染色堅ろう度試験	熱湯、水、汗、洗濯、摩擦等	1件(1事項)	1,270
	耐光(キセノンウェザーメーターによるもの)	1件(5試料)・4級まで又は6.5時間まで	2,640
		1件(5試料)・5級又は6.5時間を超え、12時間まで	4,180
		12時間を超え、1件1時間ごとに	340
	耐光(フェードメーターによるもの)	1件・3級まで又は6時間まで	4,730
	6時間を超え、1件1時間ごとに	660	
耐候試験	1件(5試料)・8時間	3,080	
	8時間を超え、1件1時間ごとに	340	
耐光試験(フェードメーターによるもの)	1件(5試料)・1時間	1,540	
	追加5試料ごとに	330	
	1時間を超え、1件1時間ごとに	660	

恒温恒湿試験	1件・1時間	1,430	
	1時間を超え、1件1時間ごとに	220	
測色試験	1件	1,540	
洗濯試験	1件	2,200	
繊維、染料、助剤、薬剤等の分析及び応用試験	1件・1成分	2,910以上 9,870以下	
プラスチック材料試験	簡単なもの	1件(1事項) 2,240	
	複雑なもの	1件(1事項) 4,380	
	メルトインデクサによるもの	1件 2,310	
プラスチック試料作成	射出成形機によるもの	1件(5ショットまで) 3,850	
		追加同一材料(5ショットまで)	770
	試料切断	1件 1,540	
	試料研磨	1件 3,300	
	冷間樹脂埋め	1試料 1,540	
	その他の試料作成機等によるもの	1件(1事項) 1,020	
電子顕微鏡表面観察	1件(1事項)(写真1枚付)	4,510	
	追加1箇所につき(写真1枚付)	880	
デジタルマイクロスコープ観察	1件(1事項)(写真1枚付)	2,090	
		写真追加1枚につき	440
疲労試験	1試料・1時間	6,050	
	疲労試験機(油圧)によるもの(恒温槽の利用なし)	1時間を超え、1試料1時間ごとに	770
	疲労試験機(油圧)によるもの(恒温槽の利用あり)	1試料・1時間	8,140
	1時間を超え、1試料1時間ごとに	880	
強度試験	万能試験機によるもの	1件 1,980	
	高速度カメラによる破断観察	1件・1時間 3,960	
熱分析	1試料・1時間	4,510	
PVT測定	1条件	7,260	
削除	削除	削除	
摩擦処理試験	1試料(1,000回まで)	990	
熱拡散率測定	1測定	7,590	

恒温恒湿試験	1件・1時間	1,430	
	1時間を超え、1件1時間ごとに	220	
測色試験	1件	1,540	
洗濯試験	1件	2,200	
繊維、染料、助剤、薬剤等の分析及び応用試験	1件・1成分	2,910以上 9,870以下	
プラスチック材料試験	簡単なもの	1件(1事項) 2,240	
	複雑なもの	1件(1事項) 4,380	
	メルトインデクサによるもの	1件 2,310	
プラスチック試料作成	射出成形機によるもの	1件(5ショットまで) 3,850	
		追加同一材料(5ショットまで)	770
	試料切断	1件 1,540	
	試料研磨	1件 3,300	
	冷間樹脂埋め	1試料 1,540	
	その他の試料作成機等によるもの	1件(1事項) 1,020	
電子顕微鏡表面観察	1件(1事項)(写真1枚付)	4,510	
	追加1箇所につき(写真1枚付)	880	
デジタルマイクロスコープ観察	1件(1事項)(写真1枚付)	2,090	
		写真追加1枚につき	440
疲労試験	1試料・1時間	6,050	
	疲労試験機(油圧)によるもの(恒温槽の利用なし)	1時間を超え、1試料1時間ごとに	770
	疲労試験機(油圧)によるもの(恒温槽の利用あり)	1試料・1時間	8,140
	1時間を超え、1試料1時間ごとに	880	
強度試験	万能試験機によるもの	1件 1,980	
	高速度カメラによる破断観察	1件・1時間 3,960	
熱分析	1試料・1時間	4,510	
PVT測定	1条件	7,260	
熱拡散率・熱伝導率測定	1試料	7,040	

KES風合い試験	引張せん断試験	1件(1事項)	1,870	
	曲げ試験	1件(1事項)	1,870	
	圧縮試験	1件(1事項)	1,760	
	表面試験	1件(1事項)	1,870	
	接触冷温感・熱伝導率・保温性試験	1件(1事項)	1,760	
	ねじり試験	1件(1事項)	1,870	
	風合い値解析	1件(1事項)	990	
	成績書交付	1通	560	
試作又は加工	織物又は糸の精練、漂白、染色その他の加工	1件(1事項)	950以上 8,890以下	
	織物の整理仕上げ	1反又は12メートル	470以上 3,860以下	
	試織	手織りによるもの	1件(1事項)(幅10センチメートルまで、長さ30センチメートルまで)	6,820
		小型レピア試織機によるもの	1件(1事項)(幅50センチメートルまで、長さ100センチメートルまで)	31,460
			1件(1事項)(長さ100センチメートルを超え、100センチメートルにつき)	3,740
試編み(ホールガーメントコンピューター横編機によるもの)		1件(1事項)(幅90センチメートルまで、長さ50センチメートルまで)	3,410	
		1件(1事項)(長さ50センチメートルを超え、50センチメートルにつき)	1,430	
図案の調製	設計図案データの作成	1件・0.5時間	1,660	
	二次元形状データの作成	1件・0.5時間	1,660	
	設計図案の印刷	1枚(長さ50センチメートル)	340	

KES風合い試験	引張せん断試験	1件(1事項)	1,870	
	曲げ試験	1件(1事項)	1,870	
	圧縮試験	1件(1事項)	1,760	
	表面試験	1件(1事項)	1,870	
	接触冷温感・熱伝導率・保温性試験	1件(1事項)	1,760	
	ねじり試験	1件(1事項)	1,870	
	風合い値解析	1件(1事項)	990	
	成績書交付	1通	560	
試作又は加工	織物又は糸の精練、漂白、染色その他の加工	1件(1事項)	950以上 8,890以下	
	織物の整理仕上げ	1反又は12メートル	470以上 3,860以下	
	試織	手織りによるもの	1件(1事項)(幅10センチメートルまで、長さ30センチメートルまで)	6,820
		小型レピア試織機によるもの	1件(1事項)(幅50センチメートルまで、長さ100センチメートルまで)	31,460
			1件(1事項)(長さ100センチメートルを超え、100センチメートルにつき)	3,740
試編み(ホールガーメントコンピューター横編機によるもの)		1件(1事項)(幅90センチメートルまで、長さ50センチメートルまで)	3,410	
		1件(1事項)(長さ50センチメートルを超え、50センチメートルにつき)	1,430	
図案の調製	設計図案データの作成	1件・0.5時間	1,660	
	二次元形状データの作成	1件・0.5時間	1,660	
	設計図案の印刷	1枚(長さ50センチメートル)	340	

3 茨城県産業技術イノベーションセンター笠間陶芸大学校

区分	単位	金額(単位 円)	
窯業試験	素き地試験	1件	2,690
	熱分析試験	1件	4,180
	蛍光エックス線分析試験(定性)	1件	2,690
	蛍光エックス線分析試験(定量)	1成分	1,020
	エックス線回折試験	1件	4,720
	電子顕微鏡観察(表面)試験	1件	2,810
	粒度分布試験	1件	3,710
	吸水試験	1件	670
	強度試験	1件	600
	耐寒試験	1件	4,150
	嵩かさ比重試験	1件	1,120
	耐薬品試験	1件	1,350
	外圧試験	1件	1,470
	熱衝撃試験(陶磁器製耐熱食器)	1件	2,420
	その他の試験	1件	知事その都度定める額
成績書交付	1通	560	
試作又は加工	1件	470以上 69,270以下	

3 茨城県産業技術イノベーションセンター笠間陶芸大学校

区分	単位	金額(単位 円)	
窯業試験	素き地試験	1件	2,690
	熱分析試験	1件	4,180
	蛍光エックス線分析試験(定性)	1件	2,690
	蛍光エックス線分析試験(定量)	1成分	1,020
	エックス線回折試験	1件	4,720
	電子顕微鏡観察(表面)試験	1件	2,810
	粒度分布試験	1件	3,710
	吸水試験	1件	670
	強度試験	1件	600
	耐寒試験	1件	4,150
	嵩かさ比重試験	1件	1,120
	耐薬品試験	1件	1,350
	外圧試験	1件	1,470
	熱衝撃試験(陶磁器製耐熱食器)	1件	2,420
	その他の試験	1件	知事その都度定める額
成績書交付	1通	560	
試作又は加工	1件	470以上 69,270以下	

令和5年第1回定例会 防災環境産業委員会資料

令和4年度県出資法人等経営評価結果について

1	茨城県信用保証協会	2
2	(公財) いばらき中小企業グローバル推進機構	3
3	(株)ひたちなかテクノセンター	4
4	(株)つくば研究支援センター	5
5	(公財)茨城カウンセリングセンター	6
6	(一財)茨城県科学技術振興財団	7

令和5年3月15日

産業戦略部

番号	法人名		決算状況等			総合的所見等 ※()書きは、経営評価チームが県所管課に向けた意見	左に係る対応
	<評価区分>						
	所管課						
1	茨城県信用保証協会	出資	基本財産	県出資額	県出資比率	<p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策として国が実施した大規模な金融緩和政策に伴い保証承諾が急増したが、令和3年度は政策の効果が現れたため、保証承諾は14,967件(前期比32.5パーセント)、1,458億円(前期比20.5パーセント)に減少するとともに、期末における保証債務残高も7,514億円(前期比96.2パーセント)と減少した。</p> <p>保証業務については、地域の中小企業者の発展を支える保証制度として、企業の実情に応じた適正な保証の推進に努められたい。</p> <p>代位弁済額は44億円(前期比73.5パーセント)と減少したが、引き続き、代位弁済の未然防止・縮小に努められたい。また、求償権の回収は、償却分を含めた回収額が23億円(前期比99.5パーセント)と減少していることから、引き続き求償権の回収強化に努められたい。</p> <p>県内中小企業を取り巻く環境は、新型コロナウイルス感染症の経済的影響の長期化等により、依然として厳しい状況が続いており、今後は融資を受けた中小企業において、その返済負担が更に経営に大きな影響を与えてくることも想定されることから、関係機関と連携して中小企業の実情に応じた各種支援に積極的に取り組まれない。</p>	<p>保証業務については、中小企業のライフサイクルに応じた資金繰り支援が適正に実施されるよう指導していく。</p> <p>代位弁済の未然防止・縮小については、新型コロナウイルス感染症の影響等により返済緩和等の条件変更を繰り返す中小企業者に対し専門家を派遣するなど、経営改善支援・再生支援の取組を強化するよう指導していく。</p> <p>求償権の回収強化については、金融機関実務経験者を活用するとともに、法的措置を含めた回収の強化に取り組むよう指導していく。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の経済的影響の長期化等により、依然として厳しい状況が続いている中小企業者に対しては、金融機関等関係機関との連携を強化し、中小企業者の実情に応じた経営支援策に取り組むよう指導していく。</p>
		決算	前期正味財産増減額	当期正味財産増減額	正味財産期末残高		
	<概ね良好>	資産	負債	正味財産			
	産業政策課	資産					
			37,137,234千円	3,809,437千円	10.3%		
			△43,025千円	3,317,190千円	55,677,399千円		
			848,950,225千円	793,272,826千円	55,677,399千円		

番号	法人名		決算状況等			総合的所見等 ※()書きは、経営評価チームが県所管課に向けた意見	左に係る対応
	<評価区分>						
	所管課						
2	(公財) いばらき中小企業グローバル推進機構	出資	基本財産	県出資額	県出資比率	<p>令和3年度は、国のよろず支援拠点事業等の受託増により自己収益額が大きく伸び、自己収益率が35.4パーセント(前期比32.3パーセント増)と改善され、当期経常増減額も、令和2年度の△7,597千円から13,003千円増加し、5,406千円となった。引き続き、役職員数や役員人件費の抑制を図るなど、財政基盤の安定化に努められたい。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響等により、県内中小企業の経営状況は一層厳しさを増していくことが想定される。当法人が県内中小企業の発展に果たす役割は大きいことから、関係機関と連携しながら、海外展開や受発注企業のあっせんなど、経営課題の解決に積極的に取り組むとともに、専門家を活用し、質の高い中小企業支援の実施に努められたい。</p> <p>併せて、十分な情報を提供するためにもホームページの充実を図り、中小企業がアクセスしやすい方法を講じられたい。</p> <p>また、法人は、コンプライアンス体制の強化を着実に進めているが、引き続き、コンプライアンス体制の確保に取り組み、適正に事業を実施されたい。</p>	<p>財政基盤の安定化については、国や県からの受託事業を積極的に獲得することに加えて、中小企業の支援につながる自主事業を企画・運営する等、多角的に収益を得られるよう指導していく。</p> <p>中小企業支援の実施については、本県の産業振興を担う中核的な支援機関として、経営基盤の強化や海外展開等、中小企業の様々なニーズに対して、専門家の活用等による効果的な支援を実施するよう指導していく。併せて、機構ホームページの内容の充実を図るとともに、県のメールマガジンを活用して機構の情報や事業の周知を幅広く行う等、機構ホームページへのアクセスを促すよう支援していく。</p> <p>コンプライアンス体制の確保については、引き続き、コンプライアンス担当参事が中心となり、全職員がコンプライアンス規定、行動指針及びマニュアルの内容を遵守し、適正に事業実施が行われるよう指導していく。</p>
		決算	前期正味財産増減額	当期正味財産増減額	正味財産期末残高		
		※①：8,716千円	5,371千円	1,637,965千円			
		※②：9,670千円					
	<概ね良好>	資産	資産	負債	正味財産		
	産業政策課		8,071,597千円	6,433,632千円	1,637,965千円		
			<p>※①：(公財) いばらき中小企業グローバル推進機構分</p> <p>※②：旧(公財) 茨城県中小企業振興公社分(R2.8.1に(公財) いばらき中小企業グローバル推進機構と合併)</p>				

番号	法人名		決算状況等			総合的所見等 ※()書きは、経営評価チームが県所管課に向けた意見	左に係る対応
	<評価区分>						
	所管課						
3	(株)ひたちなか テクノセンター	出資	資本金	県出資額	県出資比率	<p>令和3年度は、新規入居企業の確保による入居率の改善等により、経常利益は41,947千円(前期差12,240千円増)となり、2期連続で黒字を計上した。また、資本準備金の振替処理により繰越欠損が解消され、当期純利益は39,253千円(前期差728,630千円増)となった。</p> <p>法人収益の根幹であるビジネスオフィス等賃貸事業については、オンライン会議対応の貸会議室など、テナントニーズを踏まえたオフィス環境の提供に努めた結果、入居率が改善しており、これまでの努力を評価したい。今後も新たなニーズを掘り起こすなど、入居者の獲得に努められたい。</p> <p>企業支援事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により若干収入減となったが、利益は確保されているので評価したい。今後も、中小企業のニーズを的確に捉え企業を支援するとともに、受託事業の獲得を強化するなど、収支の改善に取り組まれたい。</p> <p>また、県全体の産業活性化を図るため、(公財)いばらき中小企業グローバル推進機構や(株)つくば研究支援センターなど、県内中小企業支援機関との連携をより一層強化されたい。</p>	<p>令和3年度は、2期連続で経常利益の黒字を計上したところだが、引き続き、第6次中期経営計画及びそのアクションプランを着実に実行し、PDCAサイクルに沿った事業運営を行うことで、黒字体質の定着が図れるよう指導していく。</p> <p>ビジネスオフィス等賃貸事業については、入居の動向等について情報共有したうえで、入居ニーズの把握・掘り起こしや、入居者・起業者向けの支援サービスの改善など施設の魅力向上に取り組み、更なる入居率の向上を図るよう指導していく。</p> <p>企業支援事業については、各事業の採算管理を徹底するとともに、地域企業の研究開発・技術力向上や人材育成等の取組を一層進めていくほか、県内の中小企業支援機関と連携し、各々の強みを生かしながら、県全体の産業活性化に貢献するよう指導していく。</p>
			100,000千円	41,202千円	41.2%		
		決算	前期損益	当期損益	利益剰余金		
			△689,377千円	39,253千円	39,253千円		
	<概ね良好>	資産	資産	負債	純資産		
	産業政策課		1,183,737千円	149,273千円	1,034,464千円		
<p>県所管課は、ビジネスオフィス等賃貸事業における入居の動向等について情報を共有し、入居率の更なる向上への取組等について指導されたい。</p>							

番号	法人名		決算状況等			総合的所見等 ※()書きは、経営評価チームが県所管課に向けた意見	左に係る対応
	<評価区分>						
	所管課						
4	(株)つくば研究 支援センター	出資	資本金	県出資額	県出資比率	<p>令和3年度は、入居率が引き続き好調に推移したことにより、売上高は437百万円(前期比2.6パーセント増)、当期純利益は51百万円(前期比3.5パーセント増)となった。</p> <p>施設提供事業については、社会情勢の変化による利用者のニーズの変化に対応するため、施設設備の計画的な修繕や維持管理を行い、良質なオフィス環境を提供することにより、引き続き高い入居率の維持に努められたい。</p> <p>ベンチャー支援事業については、今後ベンチャー企業の創出・育成に向けた国の取組の拡大が見込まれる中、各種専門支援機関と連携した質の高い多様な支援により、近隣競合施設との差別化を図り、つくば発ベンチャー企業の創出・育成を推進されたい。</p> <p>また、県内産業を取り巻く環境の変化に対応し、産業活性化を図るため、(公財)いばらき中小企業グローバル推進機構や(株)ひたちなかテクノセンターなど、県内中小企業支援機関との連携をより一層強化されたい。</p>	<p>コロナ禍や資源高の影響により、県内企業を取り巻く経済環境は大変厳しい状況となっているが、入居企業の発掘・確保を積極的に進めるとともに、計画的な施設修繕を行い、入居企業に対し良好なオフィス環境を提供できるよう指導していく。</p> <p>また、国によるベンチャー支援の取組み拡大が見込まれるなかで、つくば発ベンチャー企業の創出・育成をより一層推進していくことが求められるため、支援機能を更に強化するとともに、大学や研究機関、県内産業支援機関、国内外の専門支援機関等との連携の深化について指導していく。</p>
		決算	前期損益	当期損益	利益剰余金		
		48,925千円	50,626千円	480,708千円			
	<概ね良好>	資産	負債	純資産			
	技術革新課	3,480,622千円	199,914千円	3,280,708千円			

番号	法人名		決算状況等			総合的所見等 ※()書きは、経営評価チームが県所管課に向けた意見	左に係る対応
	<評価区分>						
		所管課					
5	(公財)茨城カウンセリングセンター	出資	基本財産	県出資額	県出資比率	<p>令和3年度は、カウンセリング講座の再開及びカウンセリング面接相談件数の増加により、経常収益は38,297千円(前期差3,358千円増)と増加したが、新型コロナウイルス感染症の影響により、講師派遣依頼は75件(前期差△14件)と過去最低の件数となり、当期経常増減額は△813千円(前期差920千円減)となった。</p> <p>カウンセリング面接相談件数は前期差549件増の2,515件と大幅に増加し、メンタルヘルス対策の重要性は高まっている。引き続き、潜在的なニーズの発掘や啓発に努めるとともに、新型コロナウイルス感染症の影響による社会的不安を背景としたカウンセリングニーズにも積極的に対応し、勤労者の働きやすい職場環境づくりからメンタルヘルスマまで幅広いサポートに取り組まれた。</p> <p>また、あらゆる機会を活用して法人契約先やサポーター(個人寄付者)の増加に努めるとともに、相談料改定の検討や講座の動画配信の実施など、収益の確保や事業の拡充に努められた。</p>	<p>実施事業の周知広報に努めるとともに、講師派遣業務における派遣企業等の新規開拓や、カウンセリング講座・セミナーにおけるニーズに応じたテーマ内容の見直しなどにより、利用者の拡大につなげられるよう指導していく。</p> <p>また、近年のメンタルヘルス対策への社会的要請の高まりに加え、新型コロナウイルス感染症の影響により、その重要性が更に高まっていることから、引き続き、企業の労務・人事担当者等に対しても、より積極的な情報提供等を行っていくことにより、勤労者の働きやすい職場環境づくりも含めた幅広いサポートに取り組むよう指導していく。</p> <p>また、会員等へのより積極的な情報提供等を通じ、法人契約やサポーターの新規開拓、相談料改定の検討により収益確保を図るとともに、オンライン研修や講座のネット配信の取組など新たな手法を積極的に導入し、引き続き事業の拡充に努めるよう指導していく。</p>
			88,395千円	10,000千円	11.3%		
	決算	前期正味財産増減額	当期正味財産増減額	正味財産期末残高			
		△310千円	△1,230千円	98,788千円			
<概ね良好>		資産	資産	負債	正味財産		
労働政策課			103,098千円	4,310千円	98,788千円		

番号	法人名		決算状況等			総合的所見等 ※()書きは、経営評価チームが県所管課に向けた意見	左に係る対応
	<評価区分>						
	所管課						
6	(一財)茨城県科学技術振興財団	出資	基本財産	県出資額	県出資比率	<p>当法人は、県内の科学技術の振興に寄与し、県民の科学に対する意識の醸成に大切な役割を果たしており、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による休館や催事減少のため、つくば国際会議場利用収入は通常期に比べ大幅な減となったが、令和2年度を若干上回り、経常収益は282,485千円(前期差4,849千円増)となった。一方、電気料金上昇等により、経常費用は283,832千円(前期差9,535千円増)と増加し、当期経常増減額は△1,347千円(前期差4,686千円減)となった。引き続き、役員人件費や管理費等の抑制に努められたい。</p> <p>つくば国際会議場の利用については、経営目標である施設利用件数の達成度が52.5パーセントであり、新型コロナウイルス感染症の影響が続く厳しい経営環境ではあるが、原因を分析し対応を検討されたい。さらに、つくば国際会議場の指定管理者の代表団体として、国際会議の誘致など、利用収入の増に向けた取組を実施するとともに、効果的なPRに努められたい。</p> <p>また、研究開発奨励事業等の公益目的支出計画を着実に実施するため、つくば国際会議場管理運営等事業の健全な運営に努めるとともに、引き続き、環境の変化に対応した魅力的なイベントの開催等を通じて、科学技術の振興に寄与されたい。</p>	<p>つくば国際会議場については、利用件数や利用者数が回復傾向である一方で、原油価格高騰に伴う電気料金の値上げなど厳しい状況が続いていることから、引き続き、経費削減に努めるほか、安定した収入を確保し、持続可能な経営体制が構築できるよう指導していく。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染拡大防止から新しい生活様式が実践され、オンライン会議やハイブリッド会議など開催形式が大きく変化する中で、会議場の利用者のニーズを的確に捉え、国際会議や大規模催事の誘致、各種試験や社員研修の場としての活用の呼びかけなど、利用収入の増に向けた取り組みに努めるよう指導していく。</p> <p>なお、研究開発奨励事業等の公益目的支出計画を着実に実施するため、つくば国際会議場管理運営等事業の健全な運営に努めるほか、科学技術振興事業については、研究機関等と連携し魅力あるイベントを開催するなどして、本県の科学技術の振興に寄与できるよう指導していく。</p>
		決算	前期正味財産増減額	当期正味財産増減額	正味財産期末残高		
	<概ね良好>	資産	負債	正味財産			
	科学技術振興課	449,657千円	35,490千円	414,167千円			